ITS基金加入者ポータル

操作マニュアル

日本ITソフトウェア企業年金基金

目次 ※クリック／タップすると、そのページにジャンプします。

1 加入者ポータルについて 1

1-1 加入者ポータルの概要 1

1-2 加入者ポータルで確認できること 3

2 アカウント新規登録 4

2-1 アカウント登録から初回ログインまでの流れ 4

2-2 アカウント登録の手順 6

2-3 初回ログイン（アプリ認証） 13

① 加入者ポータルの画面の QR コードを撮影できる場合 17

② Android 端末 1 台で作業している場合 23

③ iOS 端末 1 台で作業している場合 27

④ アカウント名と秘密鍵を入力する場合 33

2-4 初回ログイン（SMS 認証） 40

3 ログイン・ログアウト 46

3-1 アプリ認証によるログイン 46

3-2 SMS 認証によるログイン 50

3-3 パスワードを忘れた場合／パスワードを変えたい場合 55

3-4 ログアウト 63

4 加入者ポータルの使い方 64

4-1 ホーム画面 64

4-2「仮想個人勘定残高確認」画面 67

4-3「設定」画面 73

① メール配信設定 73

② メールアドレス変更 75

③ 認証用端末変更 78

④ アカウント削除 86

5 FAQ 89

5-1 アカウント登録 91

5-2 初回ログイン 93

5-3 2 回目以降のログイン 98

5-4「仮想個人勘定残高確認」画面 100

5-5「設定」画面 103

1 加入者ポータルについて

1-1 加入者ポータルの概要

「ITS基金加入者ポータル」は、日本ITソフトウェア企業年金基金（ITS基金）がITS基金の加入者、資格喪失者、年金受給者などに対して、仮想個人勘定残高などの各種情報を提供するための Web アプリケーションです。

※2026年5月現在では提供する情報のほとんどが加入者向けのものですが、将来的には、退職などで加入者資格を喪失された方向けの機能の追加を検討しています。

URL：https://members.its-kikin.net/

※ブックマークや URL の共有を行う場合は、トップ画面の URL を使用し、ログイン後の各画面の URL は使用しないでください。

◆推奨環境（ブラウザ）

デスクトップ PC・ノート PC
Google Chrome または **Microsoft Edge**

スマートフォン・タブレット
Android 端末：**Google Chrome**
iOS 端末：**Safari**

※上記以外のブラウザでの動作は確認しておりません。

※ブラウザのバージョンが最新ではない場合、正常に動作しない可能性があります。

◆認証方法

「Azure Active Directory （Azure AD） B2C」を利用した多要素認証

アプリ認証（推奨）
お手元のスマートフォンまたはタブレットに認証アプリ「Microsoft Authenticator」（以下「認証アプリ」）をダウンロードし、認証アプリに表示される確認コードで認証

SMS 認証
電話番号に SMS（ショートメッセージ）で送信される確認コードで認証

※アプリ認証または SMS 認証は、どちらか一方しか選択できません。初回ログイン後に認証方法を変更する方法についてはこちらをご参照ください。

◆利用可能時間

利用可能時間：8:00～20:00

◆利用料金

加入者ポータルを利用するための手数料などは発生しません。アクセスするための通信費などは利用者ご自身のご負担となります。

◆仮想個人勘定残高のお知らせ

加入者ポータルのアカウントを登録すると、翌年以降、圧着はがき形式の「仮想個人勘定残高のお知らせ」は発行されなくなります。仮想個人勘定残高は加入者ポータルでご確認ください。

◆セッションタイムアウト

ログイン後、加入者ポータル内で何も操作しない時間が 15 分間続くと、エラーメッセージが出て強制的にログアウトします。

◆ペンション・プラス

事業所からITS基金へ、従業員の入退社や基準給与の変更などの手続きを行うための、基金独自の届出システムです。各事業所におけるペンション・プラスの管理者アカウント（以下「事業所管理者」）は、加入者ポータルのアカウントについて初期パスワードを再発行するなどの権限を有しています。

1-2 加入者ポータルで確認できること

◆毎年 3 月末時点の仮想個人勘定残高

◆一時金簡易シミュレーション

※閲覧した月の月末に退職すると仮定した場合の一時金見込額を確認できます。

◆最新の状況（氏名・基準給与・他制度掛金相当額）

※事業所からITS基金への各種届出に使用する届出システム「ペンション・プラス」と連動しています。

◆ITS基金からのお知らせ

※企業年金制度の変更や各種セミナーの開催についてメールでご案内します。ご案内の内容を加入者ポータル内でも確認できます。

2 アカウント新規登録

2-1 アカウント登録から初回ログインまでの流れ

1. 次に掲げるものを用意します。
◆「仮想個人勘定残高のお知らせ」または「初期パスワード通知書」
※初期パスワードの有効期限が切れていないもの
◆「基礎年金番号通知書」など基礎年金番号がわかるもの
◆メールアドレス
※アカウント登録後のログイン ID およびメールの受信に使用します。
※退職後も使用可能なメールアドレスの登録を推奨します。
◆多要素認証用の携帯端末
※アプリ認証の場合は認証アプリをダウンロードしたスマートフォンまたはタブレット
SMS 認証の場合は電話番号で SMS を受信可能な端末
※業務に使用する端末である必要はありません。

2. 加入者ポータルのトップ画面で「アカウント新規登録」ボタンを押し、「アカウント登録」画面に遷移します。

3. 「アカウント登録」画面で必要事項および個人情報取得に関する同意のチェックを入力し、「認証」ボタンを押すと、入力したメールアドレスにワンタイムパスワードが送信されます。

4. ワンタイムパスワードを入力すると、メールアドレスの登録が完了し、トップ画面に戻ります。

5. 多要素認証の方法をアプリ認証または SMS 認証のどちらかから選択し、トップ画面で選択した認証方法のボタンを押します。

6. パスワードを初期パスワードからご自身で設定するものに変更します。

7. 画面の指示に従ってお手元の携帯端末と加入者ポータルを紐づけます。

8. ホーム画面に遷移すれば、初回ログインの完了です。

※初回ログインによって多要素認証が設定され、ご自身の操作で登録したメールアドレスやパスワードの変更、多要素認証の初期化などを行うことができるようになります。
途中で中断せず、ホーム画面を見るところまで進んでください（所要時間約 10 分）。

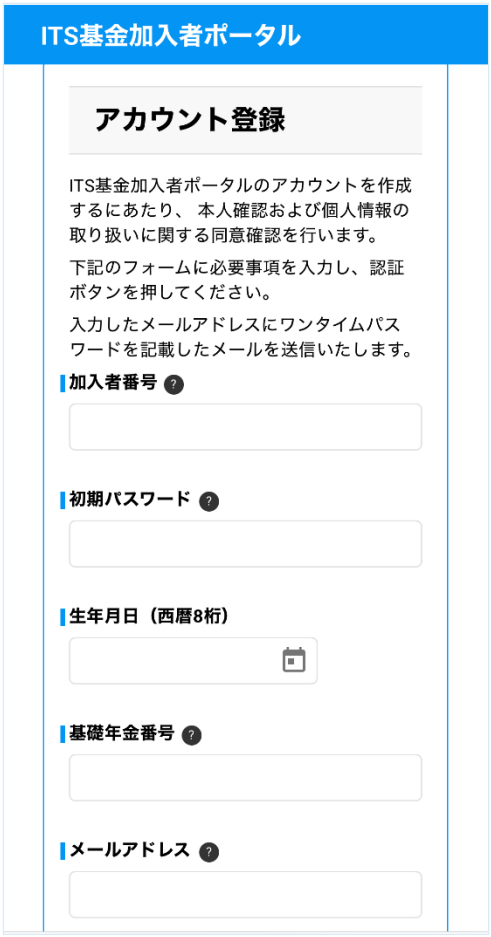
ホーム画面

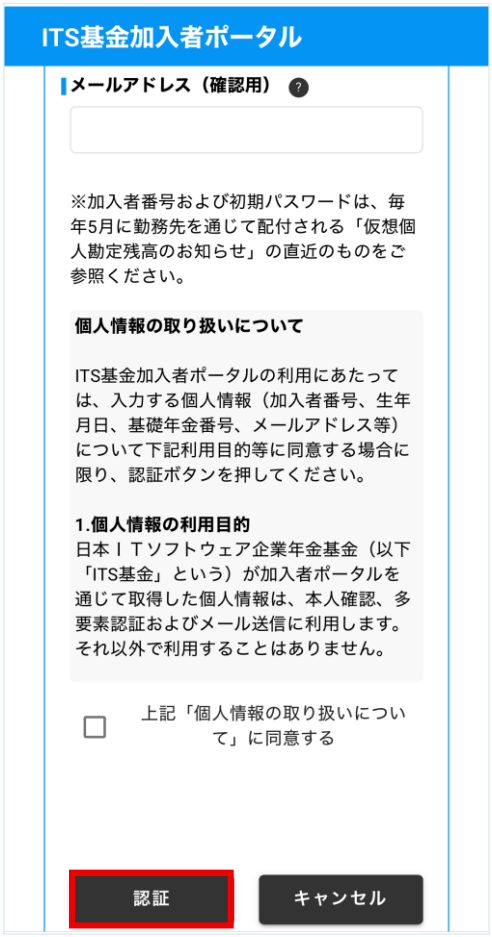
手順の詳細は、次ページ以降をご参照ください。

2-2 アカウント登録の手順

1. トップ画面で「アカウント新規登録」ボタンを押します。「アカウント登録」画面に遷移します。

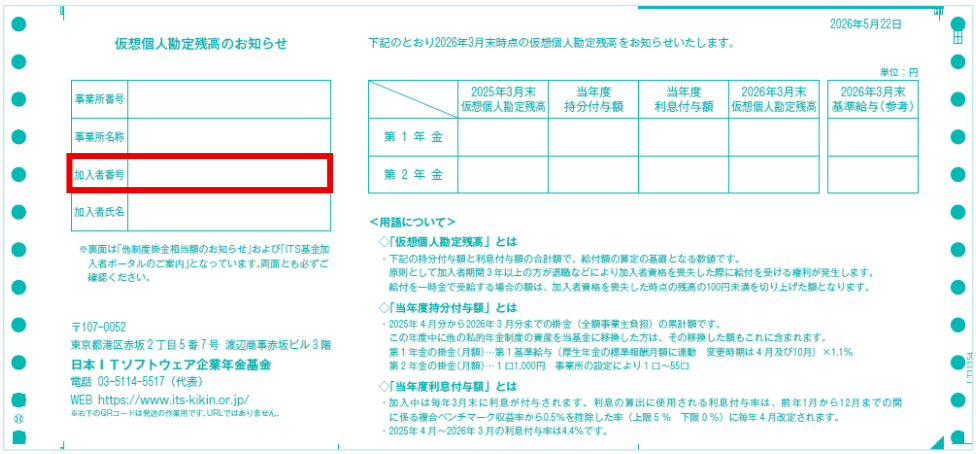
2.「アカウント登録」画面で必要事項を入力し、画面下部の「認証」ボタンを押します。





◆加入者番号

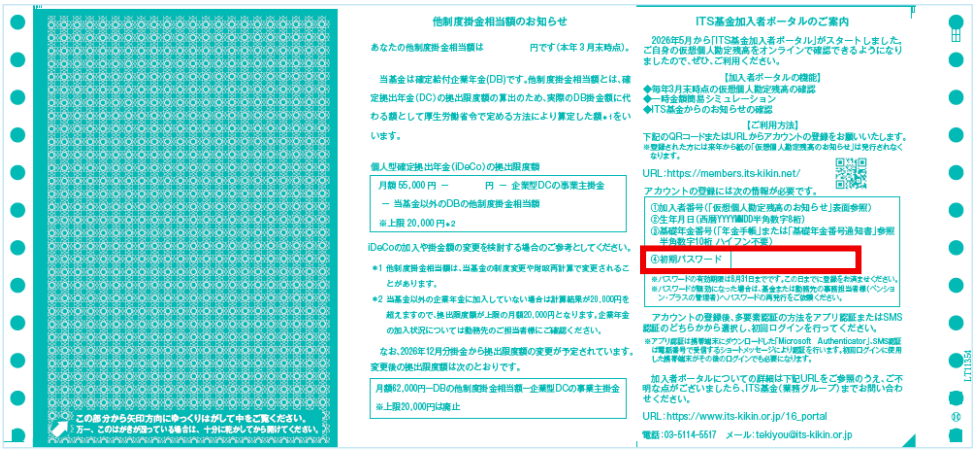
「仮想個人勘定残高のお知らせ」または「初期パスワード通知書」参照



◆初期パスワード

「仮想個人勘定残高のお知らせ」裏面または「初期パスワード通知書」参照

※圧着はがき形式の「仮想個人勘定残高のお知らせ」がお手元にある場合は、加入者番号がある面を表面として、裏面を剥がしたところに記載しています。



※2026 年に発行した「仮想個人勘定残高のお知らせ」記載の初期パスワードは、「0（ゼロ）」と「O（大文字オー）」、「L（大文字エル）」と「l（小文字エル）」の判別が難しいフォントになっています。初期パスワードの中にこれらの文字が含まれていて「入力内容に誤りがある」というエラーが出た場合は、組み合わせのもう一方も試すことで当面はご対応ください。

※アカウント登録から初回ログインまでの間に同じ初期パスワードを全部で 3 回入力する必要があります。初期パスワードの文字列をメモアプリなどに保存しておき、2 回目以降はペーストで入力することを推奨します。

※有効期限は発行から 3 ヶ月後の月末（毎年 5 月に発行される「仮想個人勘定残高のお知らせ」の場合は 8 月 31 日）または再発行の 10 営業日後です。

※有効期限を過ぎた場合は、基金事務局または事業所管理者へご相談ください。

◆生年月日（西暦 8 桁）

「YYYYMMDD」または「YYYY/MM/DD」の形式でご入力ください。

例：1999 年 9 月 9 日⇒「19990909」または「1999/09/09」

※カレンダーから選択することもできます。

※入力後は「YYYY/MM/DD」の形式で表示されます。

◆基礎年金番号

基礎年金番号とは、公的年金（国民年金および厚生年金）の加入記録を管理するためのキーとなる番号です。

日本年金機構：基礎年金番号・基礎年金番号通知書・年金手帳について

ITS基金を含む私的年金制度では、私的年金制度間のデータ連携のキーとして使用しており、事業所がITS基金へ提出する加入者資格取得届の必要事項としています。

加入者ポータルのアカウントを登録するに当たり、本人確認のための必要事項として基礎年金番号をハイフンなしの 10 桁でご入力ください。

ご自身の基礎年金番号は、基礎年金番号通知書、マイナポータル、ねんきんネットなどで確認することができます。

日本年金機構：自分の基礎年金番号の確認方法を教えてください。

※本人確認の手段としているため、ご本人から基金事務局へお問い合わせがあっても、基礎年金番号はお答えできません。

※事業所管理者は、ペンション・プラスの「加入者情報確認」画面で当該加入者を選択すると、ITS基金に登録されている基礎年金番号を確認することができます。

◆メールアドレス

アカウント登録後のログイン ID および加入者ポータルから送信するメールの送信先として使用します。

※初回ログイン後、ご自身の操作で変更することができます。

※登録したメールアドレスを事業所管理者が確認することはできない仕様です。業務に使用するメールアドレスである必要はありません。

※2026 年 5 月現在は加入者向けの機能がほとんどですが、将来的には、退職などで加入者資格を喪失された方向けの機能の追加を検討しています。退職後も使用可能なメールアドレスの登録を推奨します。

※「@its-kikin.net」が送信するメールの受信が可能な設定にしてください。

◆「個人情報の取り扱いについて」への同意

ご一読いただき、同意することが加入者ポータルご利用の条件となります。「～に同意する」の横にあるチェックボックスにチェックを入れてください。

日本ITソフトウェア企業年金基金：プライバシーポリシー

※加入者番号・生年月日・基礎年金番号は、入力した情報をITS基金保有の情報と突き合わせ、本人確認を行うことがご入力いただく目的です。

※加入者ポータルご利用に際してITS基金が新しく取得する個人情報はメールアドレスのみで、その利用目的は前述のとおりです。初回ログイン後、ご自身の操作でメールアドレスの変更やアカウントの削除を行うことができます。アカウントを削除すると、メールアドレスの情報は削除されます。

3.「認証」ボタンを押すと、入力したメールアドレスにワンタイムパスワードを記載したメールが送信されます。

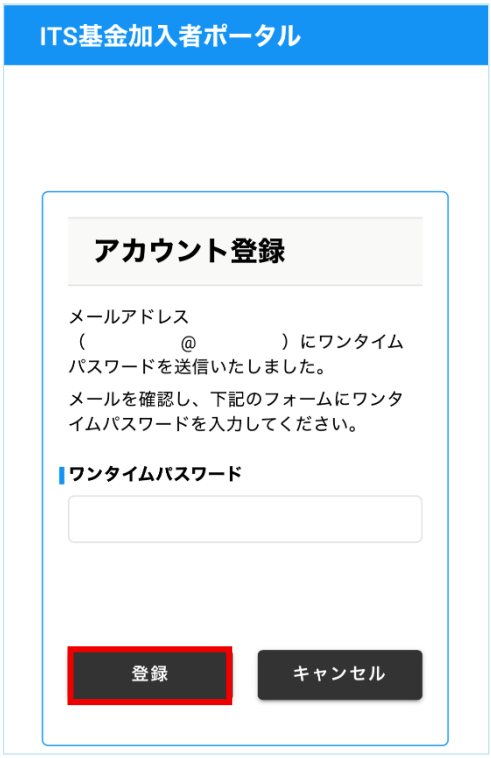
メール

このたびは、ITS基金加入者ポータルのアカウント登録をお申し込みいただき、
誠にありがとうございます。

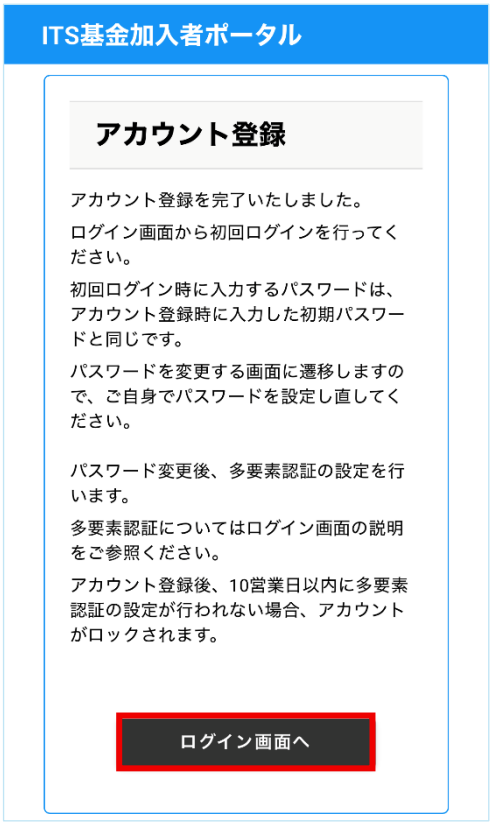
アカウント登録作業の続行に必要なワンタイムパスワードです。
XXXXXX

2026年xx月xx日 xx 時 xx 分までにITS基金加入者ポータルの画面にご入力ください。
有効期限内に入力できなかった場合は、恐れ入りますが、
アカウント登録作業を最初からやり直してください。

4. 加入者ポータルの画面にメールで送信されたワンタイムパスワードを入力し、「登録」ボタンを押します。



5. アカウント登録の作業はこれで完了です。「ログイン画面へ」ボタンを押してトップ画面へ戻ります。続いて、初回ログインの作業を行います。次ページ以降をご参照ください。



※アカウント登録後、10 営業日（基金事務局の営業日）以内に初回ログインの作業を完了させないと、アカウントがロックされます。アカウントがロックされた場合は基金事務局または事業所管理者へご相談ください。

2-3 初回ログイン(アプリ認証)

アカウント登録の作業を完了した後、多要素認証の設定を行うと、初回ログインの作業が完了します。

多要素認証の詳細についてはこちらをご参照ください。アプリ認証と SMS 認証の 2 つの認証方法をご用意していますので、どちらかから選択します。併用はできません。ご自身の操作で認証方法を初期化し、変更することはできます。

ここではアプリ認証を設定する手順をご説明します。SMS 認証についてはこちらをご参照ください。

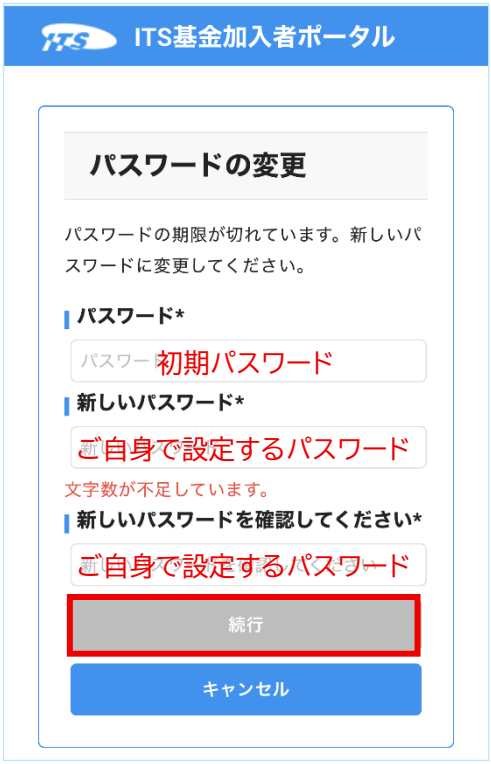
1. トップ画面で「アプリ認証」ボタンを押します。サインイン画面に遷移します。

2. サインイン画面でアカウント登録時に入力したメールアドレスを入力し、「確認」ボタンを押します。

3. パスワードを入力する欄が表示されますので、初期パスワードを入力し、「サインイン」ボタンを押します。「パスワードの変更」画面に遷移します。

※認証用端末初期化を行った後の再ログインの場合に入力するパスワードは、ご自身で設定したパスワードになります。この場合は 4.の「パスワード変更」画面に遷移せず、直接 5.の「アプリ認証」画面に遷移します。

4. 「パスワードの変更」画面の「パスワード」欄に初期パスワードを、「新しいパスワード」欄と「新しいパスワードを確認してください」欄にご自身で新しく設定するパスワードを入力し、「続行」ボタンを押します。「アプリ認証」画面に遷移します。



※パスワードには半角の英数字記号が使用可能です。
　使用可能な記号：@ # $ % ^ & * - _ + = [ ] { } | ¥ : ' , . ? / ` ~ " ( ) ; !

※12 文字以上 256 文字以下で設定してください。

※定期的な変更を必要とするルールはありません。

※パスワードによく使われる組み合わせは設定できない場合があります。

5. お手元のスマートフォンまたはタブレットに Microsoft 社が提供する認証アプリ「Microsoft Authenticator」がインストールされていない場合は、認証アプリをダウンロードしてください。

Microsoft：Microsoft Authenticator をダウンロード

6. 認証アプリがインストールされている場合は、シチュエーション別に次のいずれかの方法で認証アプリに加入者ポータルの情報を登録します。丸数字をクリック／タップすると、参照先のページへジャンプします。

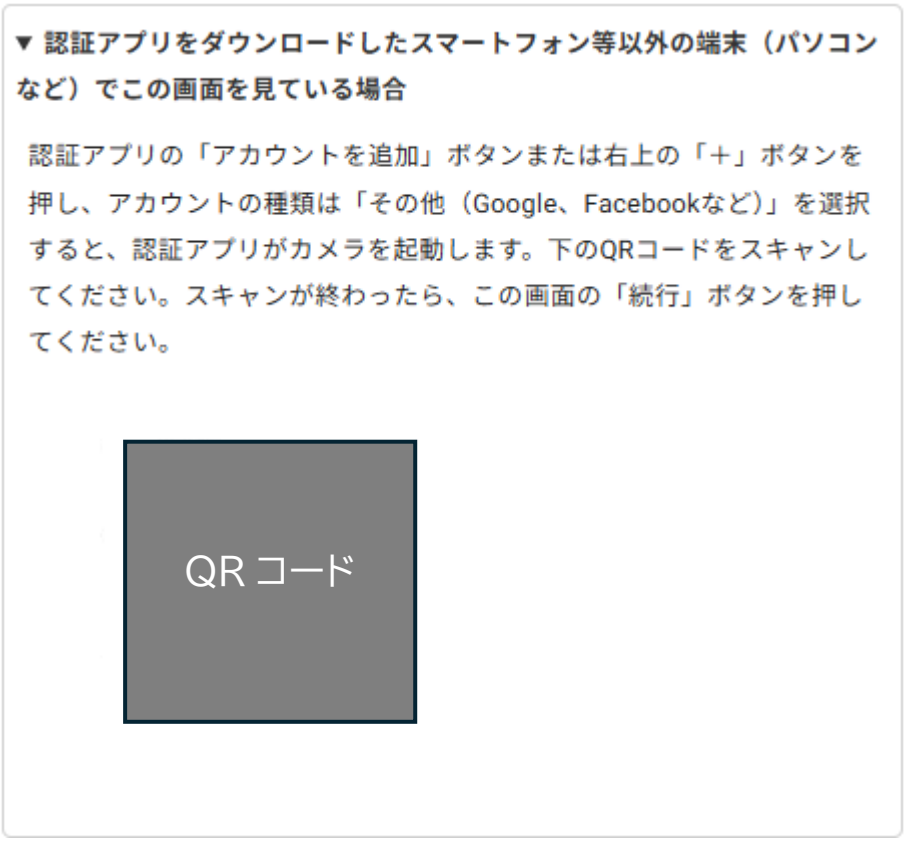
◆加入者ポータルの画面の QR コードを撮影できる場合 ※スマートフォンではなく、PC などで加入者ポータルを開いている場合を想定 ⇒①をご参照ください。
◆認証アプリがインストールされている端末 1 台で作業している場合 ※認証アプリがインストールされているスマートフォン、またはタブレットで加入者ポータルを開いている場合（端末 1 台で初回ログインの作業を行っている場合）を想定 ⇒Android 端末は②、iOS 端末は③をご参照ください。
◆上の 2 つでうまくいかない場合 ⇒④をご参照ください。

① 加入者ポータルの画面の QR コードを撮影できる場合

アプリ認証による初回ログインに共通する操作を行い、「アプリ認証」画面に遷移してからの手順です。

①-1 「認証アプリがダウンロードしたスマートフォン以外の端末(パソコンなど)で～」の「▶」を押すと、メッセージボックスが開き、QR コードが表示されます。

認証アプリが起動するカメラを使用し、QR コードをスキャンします。次ページから認証アプリの操作を説明します。

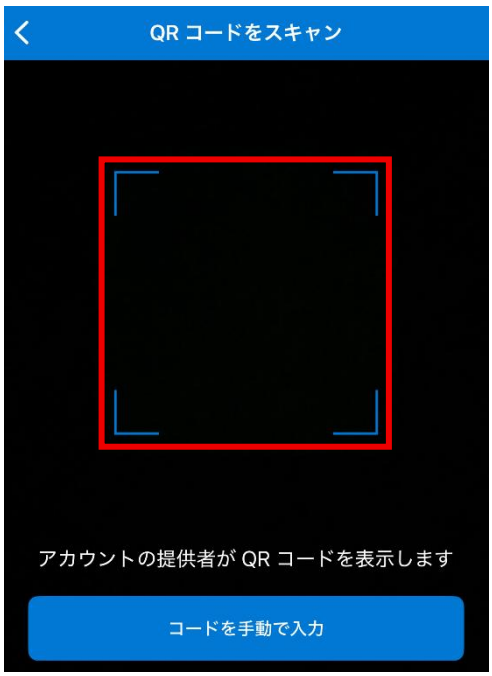


①-2 認証アプリの画面右上の「＋」ボタンまたは画面下部の「アカウントを追加」ボタンを押します。

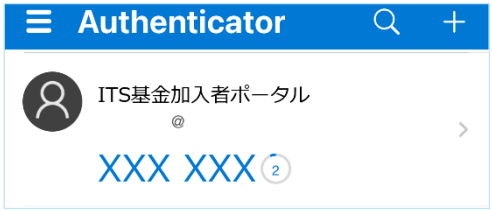
認証アプリの画面

①-3 その他（Google、Facebook など）を選択します。

①-4 カメラへのアクセスを許可すると、カメラが起動しますので、加入者ポータルの画面の QR コードをスキャンします。

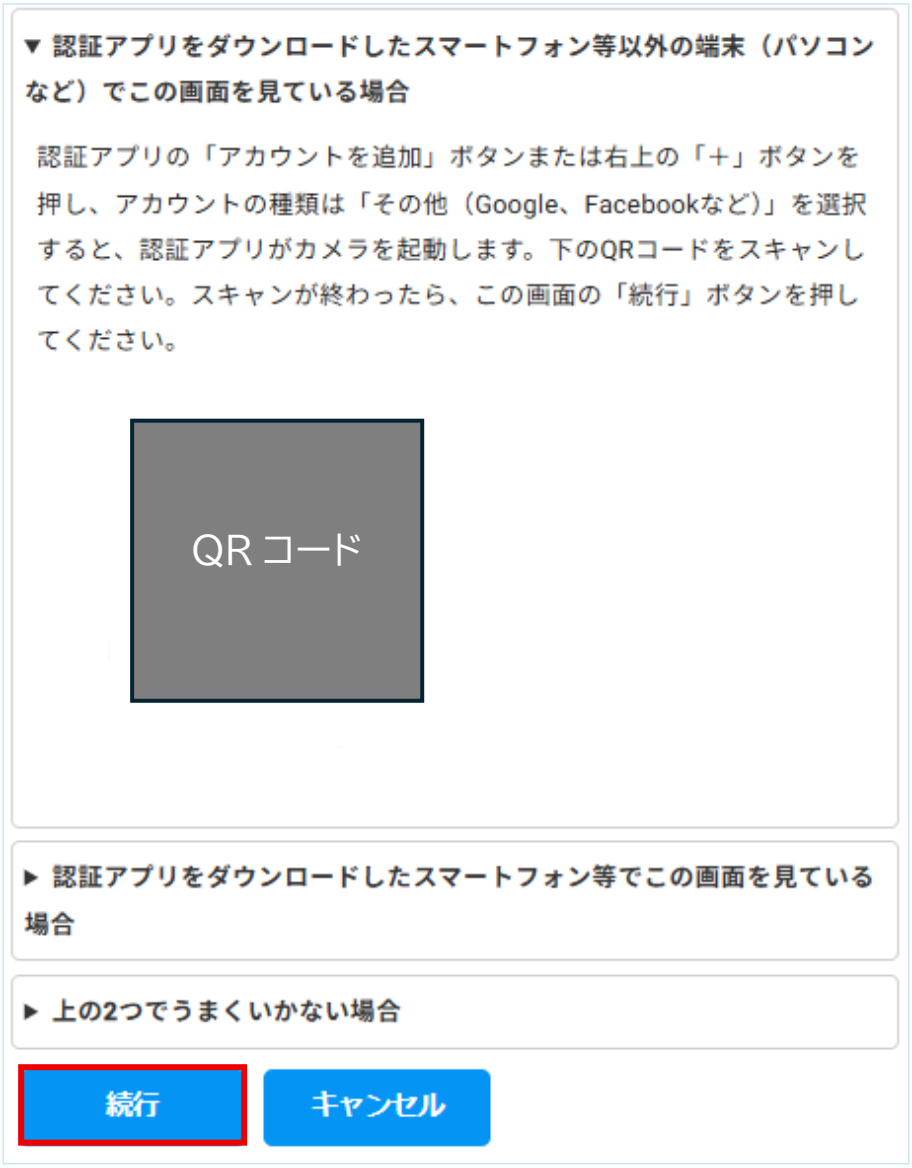


①-5 認証アプリにアカウントが追加され、6 桁の確認コードが表示されます。



※認証アプリの確認コードは 30 秒ごとに更新されます。

①-6 加入者ポータルの画面の説明に戻ります。画面下部の「続行」ボタンを押すと、確認コードを入力する画面に遷移します。



①-7 認証アプリに表示されている 6 桁の確認コードを加入者ポータルに入力し、「続行」ボタンを押します。

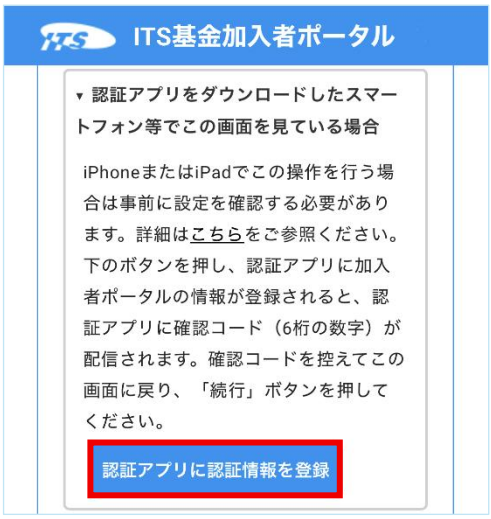
※一定時間（3 分程度）以内に正しい確認コードを入力して「続行」ボタンを押さなかった場合、初回ログインを続けられなくなります。その場合は認証アプリのアカウントを削除したうえ、「キャンセル」ボタンを押してトップ画面に戻り、アプリ認証または SMS 認証のどちらかを選択するところから初回ログインをやり直してください。

①-8 ホーム画面に遷移すれば、初回ログインの作業は完了です。

② Android 端末 1 台で作業している場合

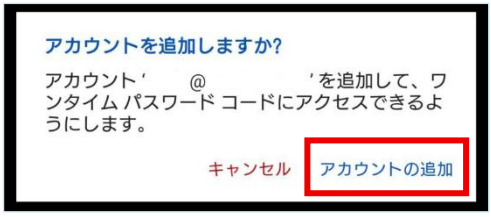
アプリ認証による初回ログインに共通する操作を行い、「アプリ認証」画面に遷移してからの手順です。

②-1 「認証アプリをダウンロードしたスマートフォン等で～」の「▸」を押すと、メッセージボックスが開きます。ボックス下部の加入者ポータルの「認証アプリに認証情報を登録」ボタンを押します。

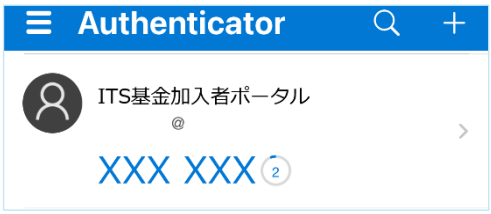


②-2 「Microsoft Authenticator」以外の認証アプリがインストールされている場合は、アプリを選択する画面が表示されます。「Authenticator 」を選択します。

②-3 認証アプリが起動します。「アカウントの追加」ボタンを押します。



②-4 認証アプリにアカウントが追加されます。表示される 6 桁の確認コードを控えておきます。



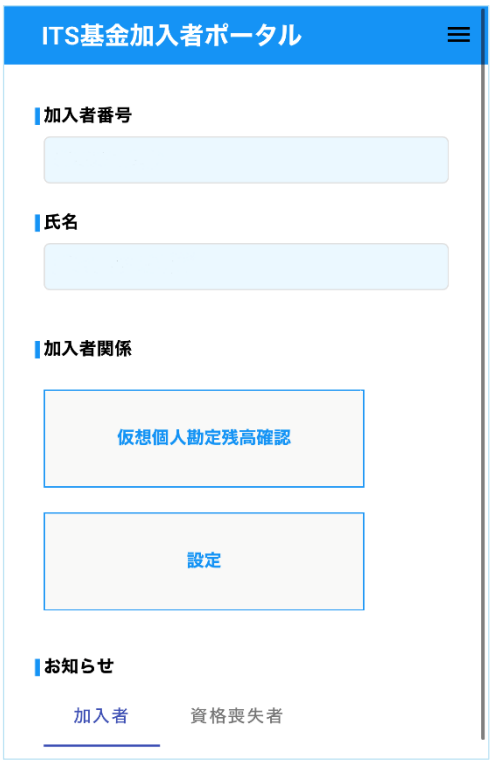
※認証アプリの確認コードは 30 秒ごとに更新されます。

②-5 加入者ポータルを開いているブラウザに戻り、画面下部の「続行」ボタンを押します。

②-6 確認コードを入力する画面に遷移します。認証アプリに表示されていた 6 桁の確認コードを入力し、「続行」ボタンを押します。

※一定時間（3 分程度）以内に正しい確認コードを入力して「続行」ボタンを押さなかった場合、初回ログインを続けられなくなります。その場合は認証アプリのアカウントを削除し、トップ画面に戻ってアプリ認証または SMS 認証のどちらかを選択するところから初回ログインの作業をやり直してください。

②-7 ホーム画面に遷移すれば、初回ログインの作業は完了です。

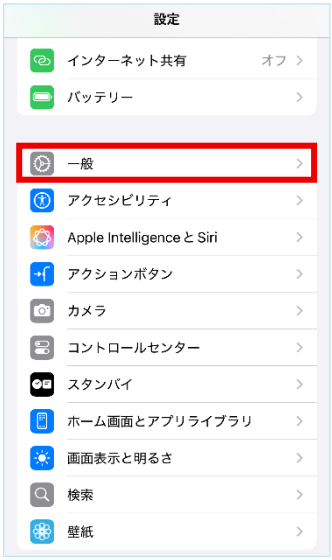


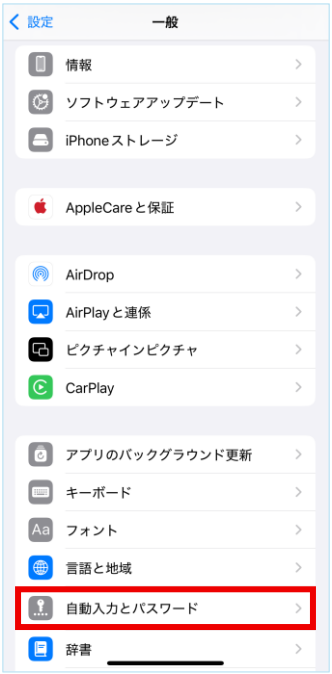
③ iOS 端末 1 台で作業している場合

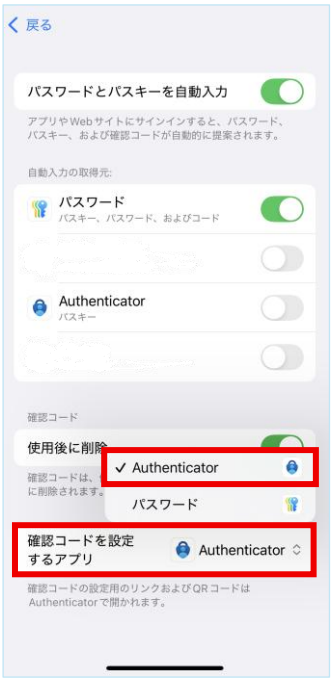
アプリ認証による初回ログインに共通する操作を行い、「アプリ認証」画面に遷移してからの手順です。

・アプリ認証に使用する端末が iPhone の場合

③-1「設定」＞「一般」＞「自動入力とパスワード」と遷移し、「確認コードを設定するアプリ」が「Authenticator」になっていない場合は、「Authenticator」に変更してください。加入者ポータルログイン後は元に戻しても差し支えありません。



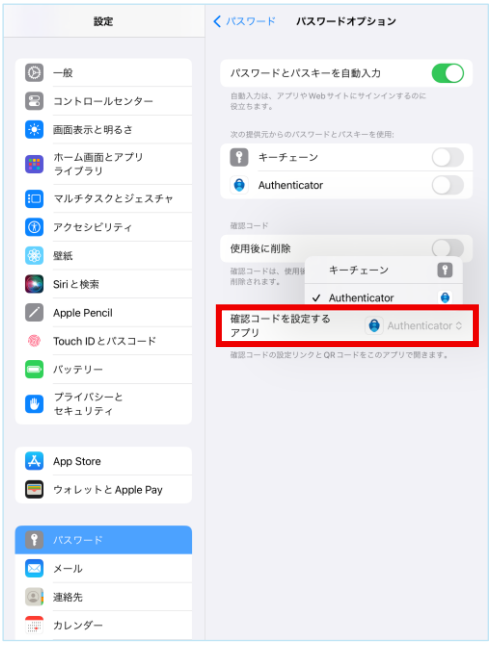




※iOS のバージョン、機種、使用言語などによって手順が異なる場合があります。

・アプリ認証に使用する端末が iPad の場合

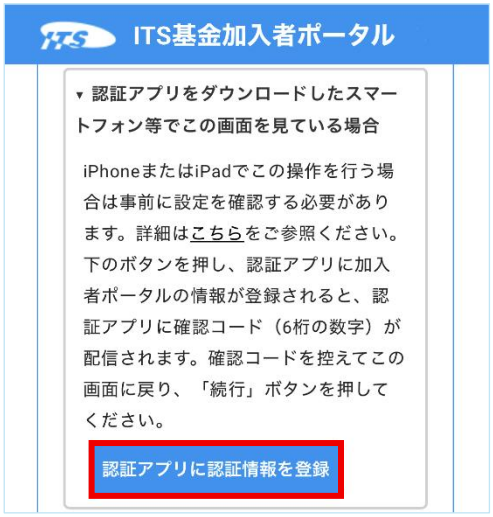
③-1’「設定」＞「パスワード」＞「パスワードオプション」を開き、「確認コードを設定するアプリ」が「Authenticator」になっていない場合は「Authenticator」に変更してください。加入者ポータルログイン後は元に戻しても差し支えありません。



※iOS のバージョン、機種、使用言語などによって手順が異なる場合があります。

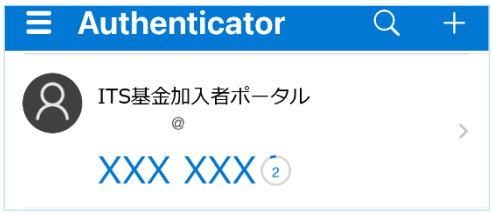
③-2 以下は iPhone の画面で説明します。

「認証アプリをダウンロードしたスマートフォン等で～」の「▶」を押すと、メッセージボックスが開きます。ボックス下部の加入者ポータルの「認証アプリに認証情報を登録」ボタンを押します。



③-3 認証アプリの起動を確認するモーダルが表示されるので、「開く」を押します。

③-4 認証アプリにアカウントが追加されます。表示される 6 桁の確認コードを控えておきます。



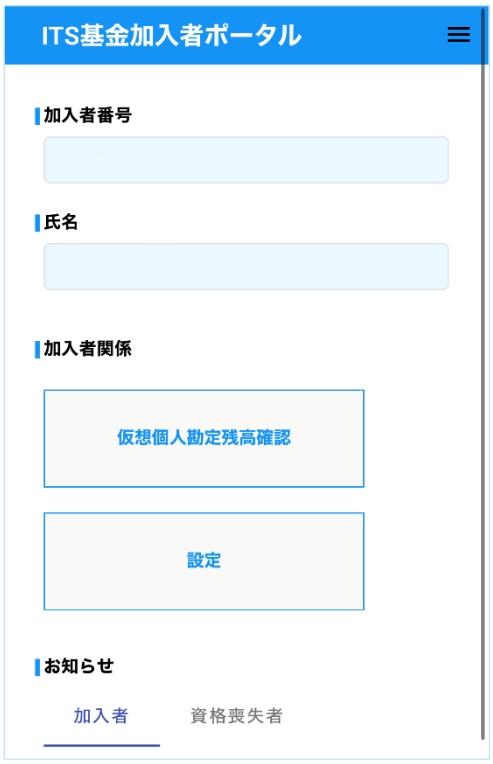
※認証アプリの確認コードは 30 秒ごとに更新されます。

③-5 加入者ポータルを開いているブラウザに戻り、画面下部の「続行」ボタンを押します。

③-6 確認コードを入力する画面に遷移します。認証アプリに表示されていた 6 桁の確認コードを入力し、「続行」ボタンを押します。

※一定時間（3 分程度）以内に正しい確認コードを入力して「続行」ボタンを押さなかった場合、初回ログインを続けられなくなります。その場合は認証アプリのアカウントを削除したうえ、「キャンセル」ボタンを押してトップ画面に戻り、アプリ認証または SMS 認証のどちらかを選択するところから初回ログインをやり直してください。

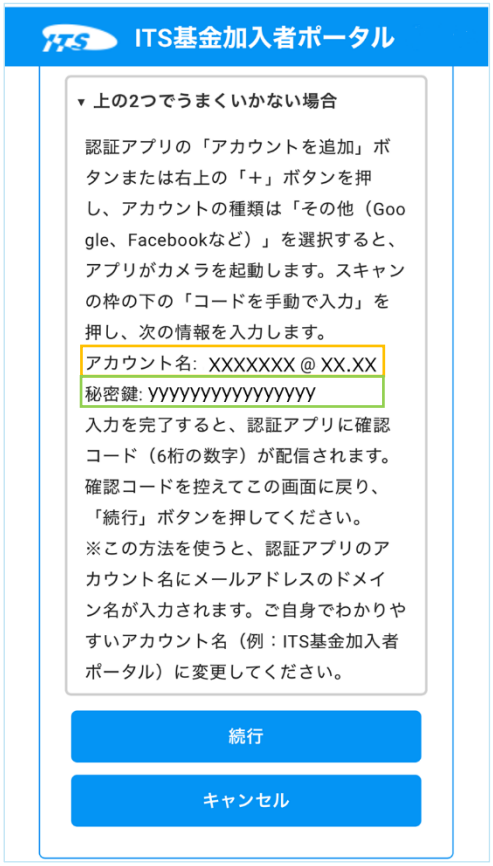
③-7 ホーム画面に遷移すれば、初回ログインの作業は完了です。



④ アカウント名と秘密鍵を入力する場合

アプリ認証による初回ログインに共通する操作を行い、「アプリ認証」画面に遷移してからの手順です。

④-1 加入者ポータルの画面の「アカウント名」「秘密鍵」を控えます。

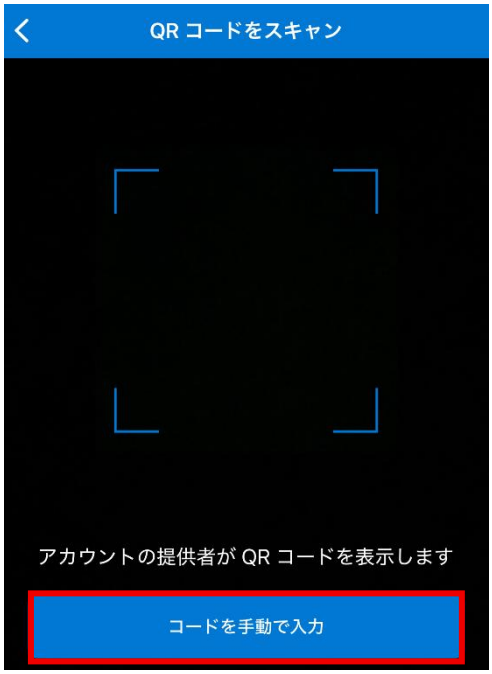


④-2 認証アプリの画面右上の「＋」ボタンまたは画面下部の「アカウントを追加」ボタンを押します。

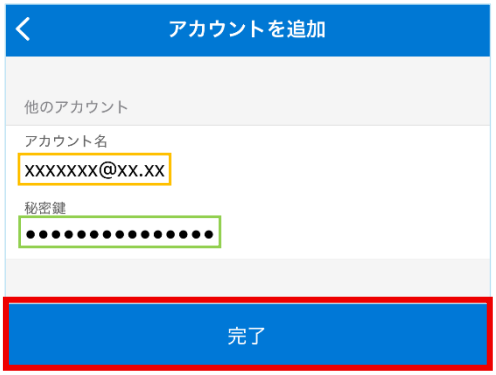
認証アプリの画面

④-3 その他（Google、Facebook など）を選択します。

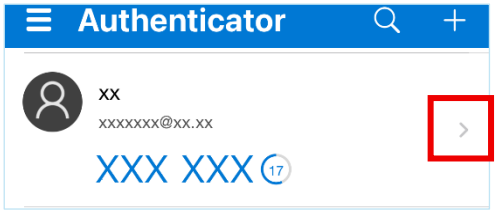
④-4 「コードを手動で入力」ボタンを押します。



④-5 加入者ポータルの画面で控えたアカウント名および秘密鍵を認証アプリに入力し、「完了」ボタンを押します。



④-6 認証アプリにアカウントが追加されます。この方法を使うと、アカウント名にメールアドレスのドメイン名が入力されてしまうため、アカウント名をわかりやすいものに変更します。アカウントの右側の「＞」を押します。



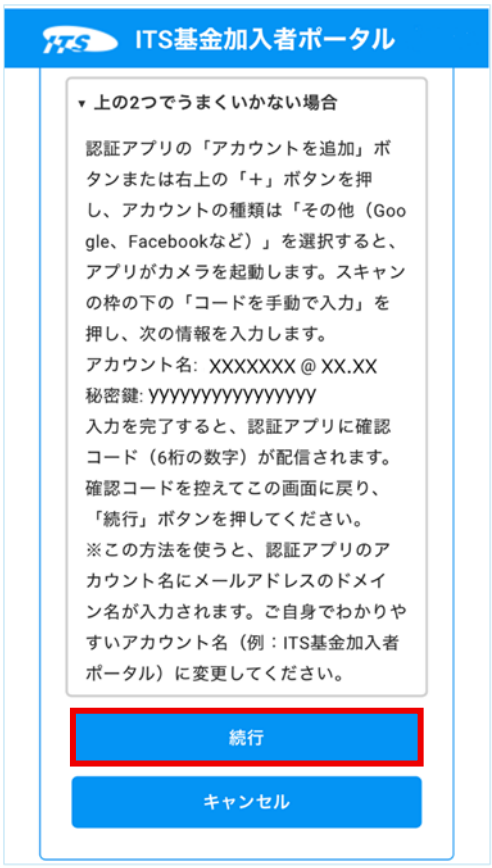
④-7 「アカウント設定」画面に遷移します。「アカウント名」右側の「＞」を押します。

④-8 「アカウント名の変更」に他のサービスと区別しやすいアカウント名（例：ITS 基金加入者ポータル）を入力し、「完了」を押します。

④-9 アカウント名が変更されます。表示される 6 桁の確認コードを控えます。

※認証アプリの確認コードは 30 秒ごとに更新されます。

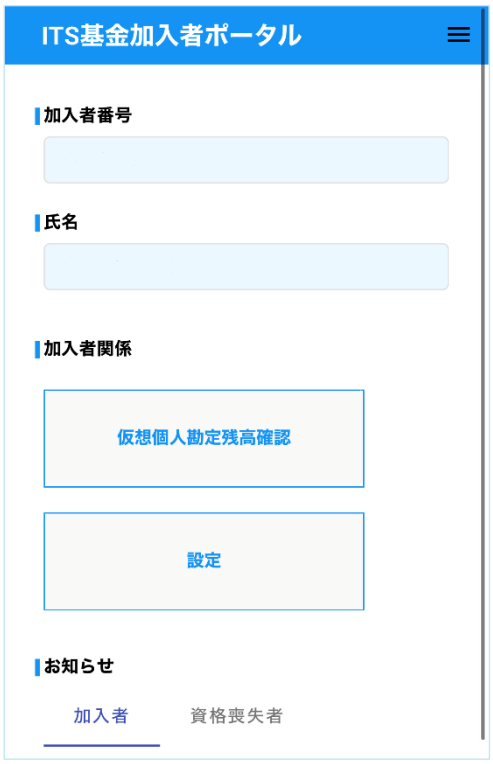
④-10 加入者ポータルを開いているブラウザに戻り、画面下部の「続行」ボタンを押します。



④-11 確認コードを入力する画面に遷移します。認証アプリに表示されていた 6 桁の確認コードを入力し、「続行」ボタンを押します。

※一定時間（3 分程度）以内に正しい確認コードを入力して「続行」ボタンを押さなかった場合、初回ログインを続けられなくなります。その場合は認証アプリのアカウントを削除したうえ、「キャンセル」ボタンを押してトップ画面に戻り、アプリ認証または SMS 認証のどちらかを選択するところから初回ログインをやり直してください。

④-12 ホーム画面に遷移すれば、初回ログインの作業は完了です。



2-4 初回ログイン（SMS 認証）

アカウント登録の作業を完了した後、多要素認証の設定を行うと、初回ログインの作業が完了します。

多要素認証の詳細についてはこちらをご参照ください。アプリ認証と SMS 認証の 2 つの認証方法をご用意していますので、どちらかから選択します。併用はできません。ご自身の操作で認証方法を初期化し、変更することはできます。

ここでは SMS 認証を設定する手順をご説明します。アプリ認証についてはこちらをご参照ください。

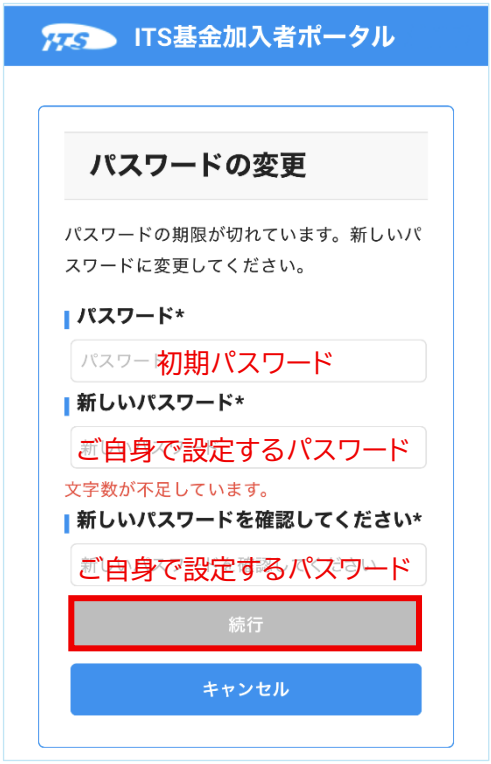
1. トップ画面で「SMS 認証」ボタンを押します。サインイン画面に遷移します。

2. サインイン画面でアカウント登録時に入力したメールアドレスを入力し、「確認」ボタンを押します。

3. パスワードを入力する欄が表示されますので、初期パスワードを入力し、「サインイン」ボタンを押します。「パスワードの変更」画面に遷移します。

※認証用端末初期化を行った後の再ログインの場合に入力するパスワードは、ご自身で設定したパスワードになります。この場合は 4.の「パスワード変更」画面に遷移せず、直接 5.の「アプリ認証」画面に遷移します。

4. 「パスワードの変更」画面の「パスワード」欄に初期パスワード、「新しいパスワード」欄および「新しいパスワードを確認してください」欄にご自身で新しく設定するパスワードを入力し、「続行」ボタンを押します。「SMS 認証」画面に遷移します。



※パスワードには半角の英数字記号が使用可能です。
　使用可能な記号：@ # $ % ^ & * - _ + = [ ] { } | ¥ : ' , . ? / ` ~ " ( ) ; !

※12 文字以上 256 文字以下で設定してください。

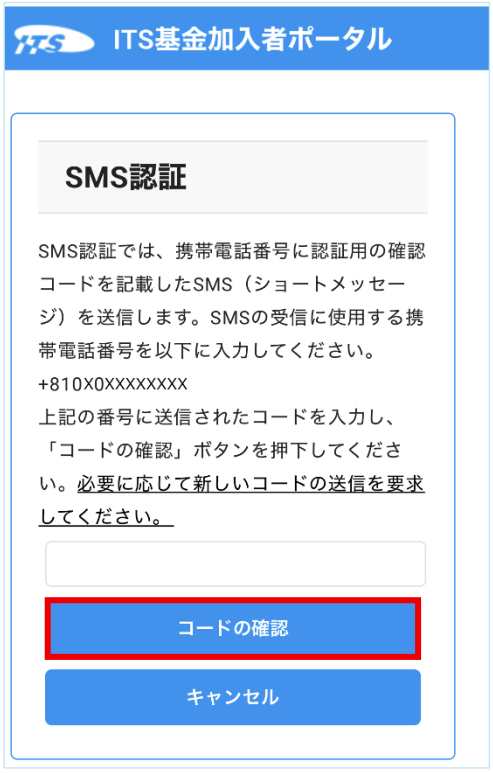
※定期的な変更を必要とするルールはありません。

※パスワードによく使われる組み合わせは設定できない場合があります。

5.「SMS 認証」画面で「携帯電話番号」欄に SMS（ショートメッセージサービス）を受信可能な携帯電話番号を入力し、「コードの送信」ボタンを押します。

6. メッセージアプリに 6 桁の確認コードが記載された SMS が送信されます。

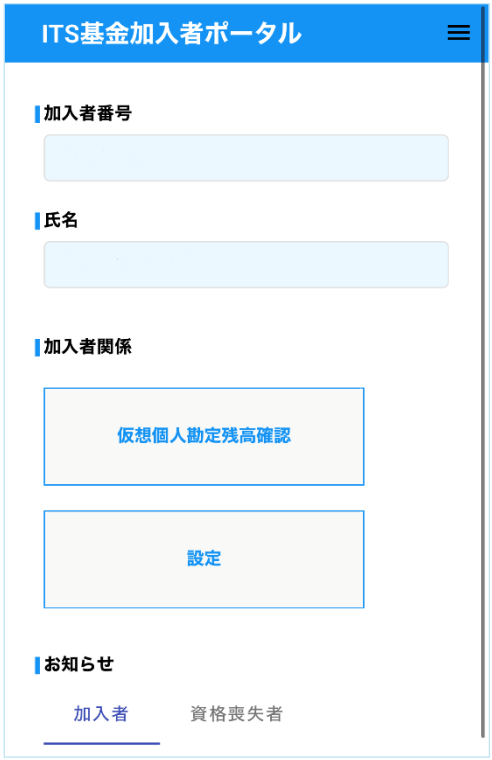
7. 加入者ポータルが確認コードを入力する画面に遷移します。SMS で送信された 6 桁の確認コードを入力し、「コードの確認」ボタンを押します。



※確認コードが記載された SMS を受信できない場合は、「必要に応じて新しいコードの送信を要求してください。」のリンクをクリック／タップしてください。SMS をもう一度送信します。

※一定時間（3 分程度）以内に正しい確認コードを入力して「コードの確認」ボタンを押さなかった場合、確認コードが無効になります。この場合も「必要に応じて新しいコードの送信を要求してください。」のリンクをクリック／タップしてください。SMS をもう一度送信します。

8. ホーム画面に遷移すれば、初回ログインの作業は完了です。



3 ログイン・ログアウト

3-1 アプリ認証によるログイン

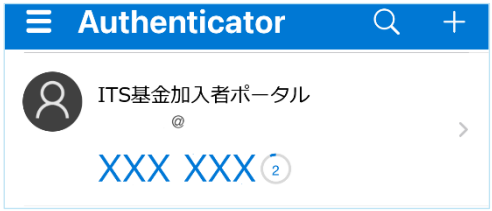
1. トップ画面で「アプリ認証」ボタンを押します。サインイン画面に遷移します。

2. サインイン画面で ID として使用しているメールアドレスを入力し、「確認」ボタンを押します。

3. パスワードを入力する欄が表示されますので、ご自身で設定したパスワードを入力し、「サインイン」ボタンを押します。確認コードを入力する画面に遷移します。

4. 認証アプリに表示される 6 桁の確認コードを入力し、「続行」ボタンを押します。

認証アプリ

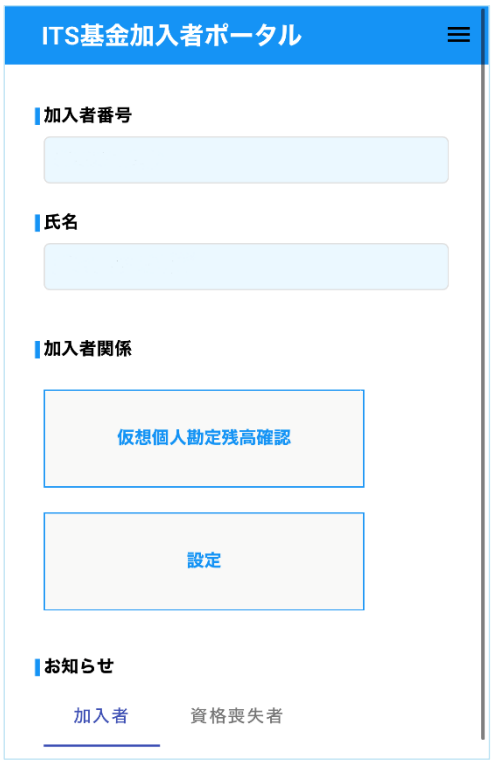


加入者ポータル

※認証アプリの確認コードは 30 秒ごとに更新されます。

※一定時間（3 分程度）以内に正しい確認コードを入力して「続行」ボタンを押さなかった場合、ログインを続けられなくなります。「キャンセル」ボタンを押してトップ画面に戻り、アプリ認証を選択するところからログインをやり直してください。

5. ホーム画面に遷移します。



3-2 SMS 認証によるログイン

1. トップ画面で「SMS 認証」ボタンを押します。サインイン画面に遷移します。

2. サインイン画面で ID として使用しているメールアドレスを入力し、「確認」ボタンを押します。

3. パスワードを入力する欄が表示されますので、ご自身で設定したパスワードを入力し、「サインイン」ボタンを押します。確認コードを入力する画面に遷移します。

4. SMS の送信先として登録された電話番号の下 5 桁が表示されます。「コードの送信」ボタンを押すと、この番号に SMS が送信されます。

5. メッセージアプリに送信された 6 桁の確認コードを加入者ポータルに入力し、「コードの確認」ボタンを押します。

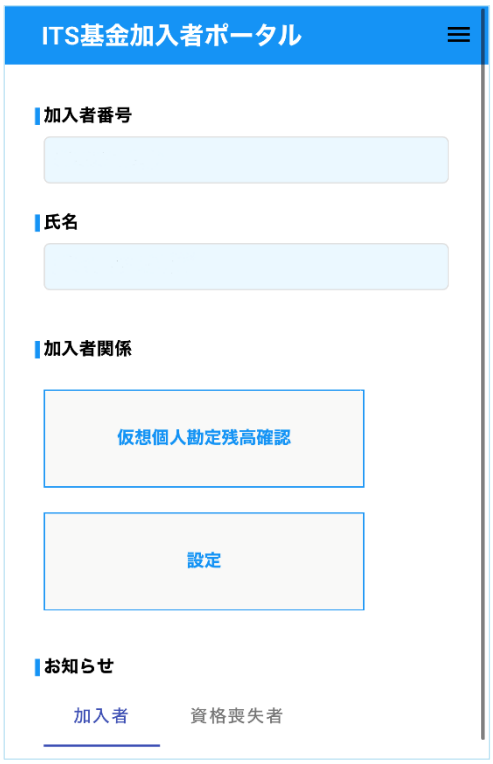
メッセージアプリ

加入者ポータル

※確認コードが記載された SMS を受信できない場合は、「必要に応じて新しいコードの送信を要求してください。」のリンクをクリック／タップしてください。SMS をもう一度送信します。

※一定時間（3 分程度）以内に正しい確認コードを入力して「コードの確認」ボタンを押さなかった場合、確認コードが無効になります。この場合も「必要に応じて新しいコードの送信を要求してください。」のリンクをクリック／タップしてください。SMS をもう一度送信します。

6. ホーム画面に遷移します。



3-3 パスワードを忘れた場合／パスワードを変えたい場合

1. トップ画面で選択中の認証方法のボタンを押します。サインイン画面に遷移します。

2. サインイン画面で ID として使用しているメールアドレスを入力し、「確認」ボタンを押します。

3. 「パスワードを忘れた場合」のリンクをクリック／タップすると、「ユーザーの詳細」画面に遷移します。

※初回ログインが完了していない等、多要素認証未設定の場合は、「パスワードを忘れた場合」のリンクが表示されず、この方法によるパスワードの変更ができません。基金事務局または事業所管理者へご相談ください。

4. 「ユーザーの詳細」画面でメールアドレスを入力し、「確認コードを送信」ボタンを押します。確認コードを入力する欄が表示されます。

5. 「microsoftonline.com」のドメインのメールアドレスから 6 桁の確認コードを記載したメールが送信されます。

メール

6.「確認コード」欄にメールで送信された 6 桁の確認コードを入力し、「コードの確認」ボタンを押します。

7. 正しい確認コードを入力したことが確認された後、「続行」ボタンを押します。

8. 選択中の認証方法による確認を行います。

◆アプリ認証の場合

「アプリ認証」画面に遷移します。認証アプリに表示される 6 桁の確認コードを入力し、「続行」ボタンを押します。

認証アプリ

加入者ポータル

※認証アプリの確認コードは 30 秒ごとに更新されます。

◆SMS 認証の場合

「SMS 認証」画面に遷移します。SMS の送信先として登録された電話番号の下 5 桁が表示されます。「コードの送信」ボタンを押すと、この番号に SMS が送信されます。

メッセージアプリに送信された 6 桁の確認コードを加入者ポータルに入力し、「コードの確認」ボタンを押します。

9. 「パスワードの変更」画面に遷移します。「新しいパスワード」欄と「新しいパスワードを確認してください」欄に変更後のパスワードを入力し、「続行」ボタンを押します。

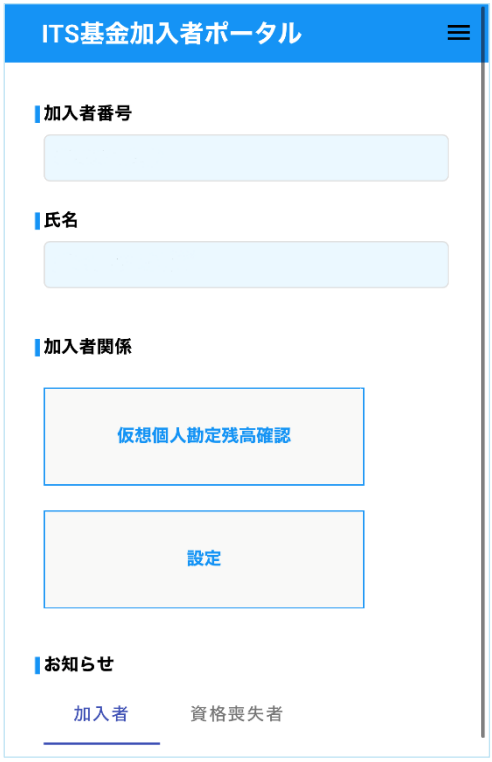
※パスワードには半角の英数字記号が使用可能です。
使用可能な記号:@ # $ % ^ & * - _ + = [ ] { } | ¥ : ', . ? / ` ~ " ( ) ; !

※12 文字以上 256 文字以下で設定してください。

※定期的な変更を必要とするルールはありません。

※パスワードによく使われる組み合わせは設定できない場合があります。

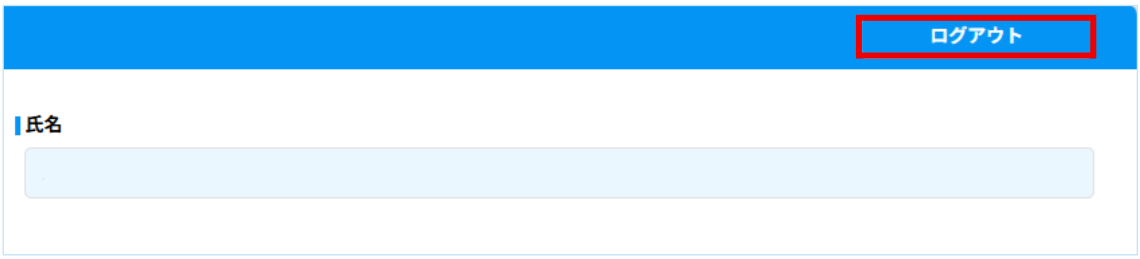
10. ホーム画面に遷移すれば、パスワードの変更は完了です。



3-4 ログアウト

◆PC またはタブレットの場合

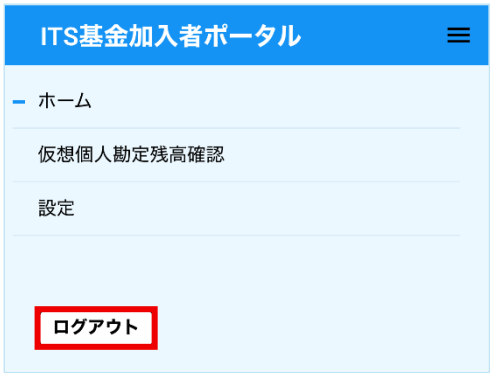
画面右上の「ログアウト」ボタンを押します。



◆スマートフォンの場合

画面右上の「≡」ボタン（ハンバーガーメニューボタン）を押すと、

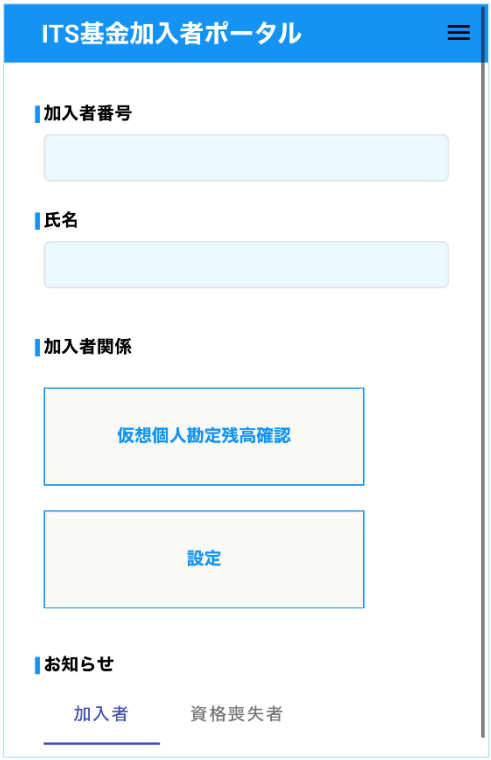
メニュー下部に「ログアウト」ボタンがありますので、これを押します。



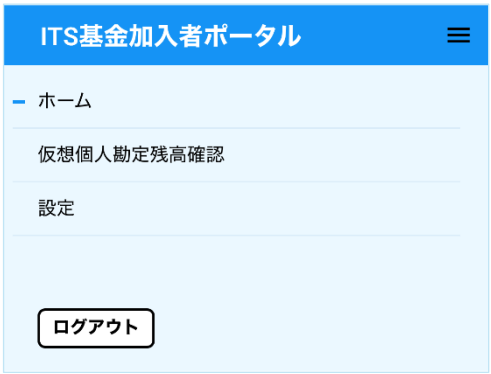
※「ログアウト」ボタンを押さずにブラウザのタブを閉じた場合や、ログインしたまま何も操作せずに 15 分が経過した場合（セッションタイムアウト）も、ログアウトと同じ状態になります。

4 加入者ポータルの使い方

4-1 ホーム画面



画面右上の「☰」ボタン（ハンバーガーメニューボタン）を押してもメニューを開くことができます。



◆加入者番号

ITS 基金が加入者の加入記録を管理するためのキーとしている番号です。原則は 1 人につき 1 つの番号を払い出しますが、再加入者は、再加入前の記録の状況によっては新しい番号を払い出します。

第 1 年金の加入者がベネフィット・ステーションのベネアカウントを初めて登録するための認証キー1 として入力する場合は、「前ゼロ」なしの番号をご入力ください。

入力例
加入者番号：0000999999 ⇒ ベネアカウントの認証キー1：999999
加入者番号：9999999999 ⇒ ベネアカウントの認証キー1：9999999999

※ベネフィット・ステーションの詳細は、ITS 基金ホームページをご参照ください。

日本ITソフトウェア企業年金基金：その他の福祉事業

◆氏名

ITS 基金届出システム「ペンション・プラス」による勤務先事業所から ITS 基金への届出に連動しています。相違している場合は事業所の事務担当者様へご相談ください。

◆仮想個人勘定残高確認

「仮想個人勘定残高確認」画面へ遷移します。詳細はこちらをご参照ください。

※加入中の方のみ利用できる機能です。退職などで加入者資格を喪失した方はこの機能を利用できません。

◆設定

「設定」画面へ遷移します。
①メール配信設定 ②メールアドレス変更 ③認証用端末変更 ④アカウント削除
を行うことができます。詳細はこちらをご参照ください。

◆お知らせ

ITS 基金から加入者ポータル利用者の皆様へのお知らせを掲載しています。お知らせのタイトルをクリック／タップすると、詳細を見ることができます。

4-2「仮想個人勘定残高確認」画面

加入中の方のみ利用できる機能です。退職などで加入者資格を喪失した方はこの機能を利用できません。

◆仮想個人勘定残高の履歴

これまで、圧着はがき形式の紙帳票でご案内していた、毎年 3 月末時点の仮想個人勘定残高を確認できる機能です。

第１年金と第２年金

ITS 基金には第１年金と第２年金の２種類の制度があります。事業所ごとに、事業所によっては職種ごとに、加入している制度が異なります。仮想個人勘定残高は制度ごとに算出されます。

仮想個人勘定残高

持分付与額と利息付与額の合計額で、退職などで加入者資格を喪失した後に受給する一時金や年金の額を算出する基礎となります。

※加入者資格を喪失する前に一時金や年金を受給することはできません。

※加入者期間が３年未満の方にも仮想個人勘定残高は表示されますが、加入者資格を喪失した後に一時金を受給するには、原則として加入者期間が３年以上必要です。

当年度持分付与額

「X 年３月末時点」の仮想個人勘定残高の場合の当年度持分付与額は、「X-1 年４月分から X 年３月分までの標準掛金（全額事業主負担）の合計額」です。この期間に他の私的年金制度から資産を ITS 基金に移換した場合は、移換した資産額もこれに含まれます。

当年度利息付与額

加入中は毎年３月末に利息が付与されます。

利息付与率

毎年４月に改定されます。「X 年３月末時点」の仮想個人勘定残高の場合でいうと…

X-2 年１月から 12 月までの期間の、運用資産ごとの市場平均収益率（ベンチマーク）を ITS 基金の資産構成割合に応じて加重平均した複合ベンチマーク収益率から 0.5%を控除した率（上限 5%　下限 0%）

X-1 年４月から X 年３月までの期間の利息付与率として適用されます。

		第1年金	第2年金
A	2025年3月末 仮想個人勘定残高	100,000	100,000
B	当年度 持分付与額	50,160	660,000
C	当年度 利息付与額	5,596	20,130
D	2026年3月末 仮想個人勘定残高	155,756	780,130

A + B + C = D
となります。

初期表示では加入者ごとに最新の仮想個人勘定残高が表示されています。「X 年 3 月末時点」のリストボックスを操作すると、過去の仮想個人勘定残高を表示させることができます。表示させたい年を選択し、「表示」ボタンを押してください。

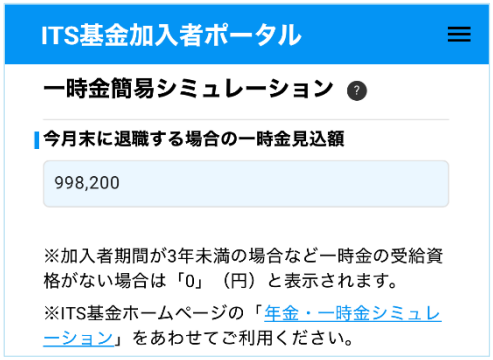
※毎年 3 月末時点で加入中の場合のみ仮想個人勘定残高のデータが作成されています。4 月以降に加入した年、加入者資格取得届の提出が遅れて 4 月以降になった年などは、仮想個人勘定残高のデータが作成されず、表示させることができません。

※4 月以降に加入した方など表示できる仮想個人勘定残高のデータがない場合は、「表示可能な仮想個人勘定残高の履歴がありません。」というメッセージが表示されます。

※3 月以前の期間に関する基準給与の変更・訂正が 4 月以降に行われた場合などは、年ごとのデータの間に矛盾が生じることがあります。

◆一時金簡易シミュレーション

加入者ポータルを閲覧している日が属する月の月末に退職するとした場合の一時金見込額です。第 1 年金の一時金見込額と第 2 年金の一時金見込額の合計額が表示されます。



※ITS 基金の一時金を受給するには、原則として 3 年以上の加入者期間が必要です。
一時金を受給できない方は「0（円）」と表示されます。

※加入者ポータルに登録された直近の仮想個人勘定残高をベースとして、残高の基準月の翌月（=4 月）から加入者ポータルを閲覧している日が属する月までの基準給与などが閲覧時点とすべて同じであるという前提で簡易的に試算した見込額となります。実際の一時金額とは異なりますので、ご注意ください。

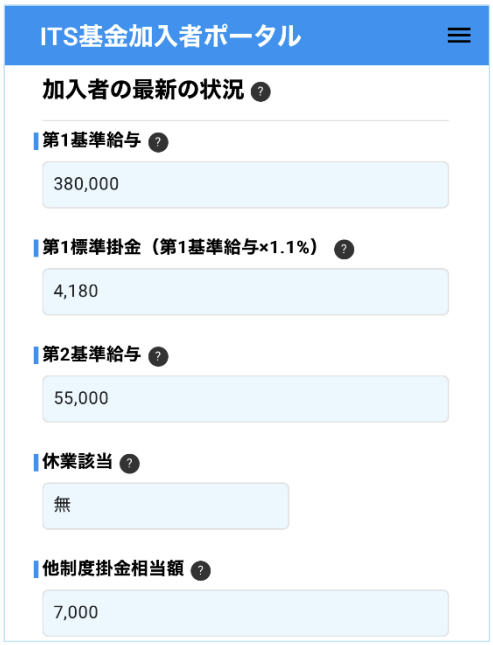
※4 月以降に転籍などで勤務先の事業所が変わった方は、一時金簡易シミュレーションを利用できません。

※実際に退職などで加入者資格を喪失した場合は、事業所から加入者資格喪失届が提出され、一時金や年金の受給権がある方には、喪失届提出の 2～3 週間後に資格喪失者のご自宅へ給付額を記載したご案内と裁定請求書などを郵送します。

※ITS 基金ホームページに「年金・一時金シミュレーション」をご用意しています。退職予定日や仮想個人勘定残高などを入力すると、任意の条件で見込額を算出できますので、あわせてご利用ください。

◆加入者の最新の状況

ITS 基金届出システム「ペンション・プラス」に登録された加入者の最新の状況です。



第 1 基準給与

第 1 年金の加入者である場合に設定されます。厚生年金の標準報酬月額に連動しますが、変更の時期は年 2 回(4 月・10 月)となります。
(例)【厚生年金】事業所が日本年金機構へ算定基礎届を提出して 9 月に変更
↓
【ITS 基金】事業所が ITS 基金へ基準給与変更届を提出して 10 月に変更

第 1 標準掛金(第 1 基準給与×1.1%)

第 1 年金の加入者の分として事業主が基金に納付する掛金です(月額)。全額が事業主負担で、加入者の持分として付与されます。

第 2 基準給与

第 2 年金の加入者である場合に設定されます(事業所が設定した口数×1,000 円)。同額が第 2 標準掛金として事業主が基金に納付する掛金の額となります(月額)。全額が事業主負担で、加入者の持分として付与されます。

休業該当

「有」の場合は、産前産後休業または育児休業の取得により標準掛金の納付が中断しています。取り扱いは事業所によって異なり、産休・育休を取得しても標準掛金の納付を中断しない事業所もあります。

他制度掛金相当額

確定給付企業年金の給付水準を所定の計算方法を用いて掛金相当額へ換算したものです。確定拠出年金の拠出限度額を算出する際、確定給付企業年金（ITS 基金を含む）の実際の掛金額ではなく、他制度掛金相当額が使用されます。

ITS 基金では第 1 年金と第 2 年金のそれぞれにこの他制度掛金相当額が設定されています。両方の加入者である場合は合計額となります。

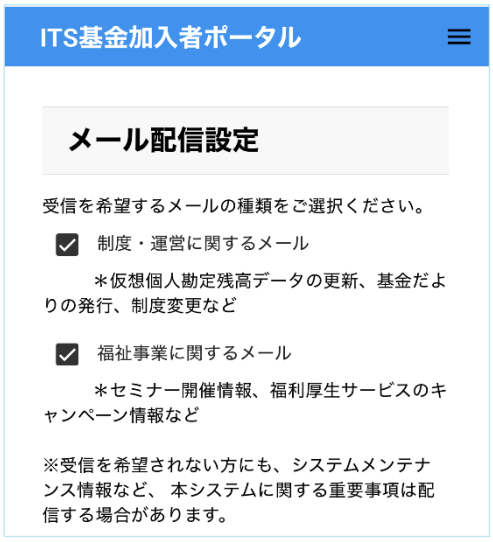
4-3「設定」画面

① メール配信設定

ITS 基金から加入者ポータルの利用者の皆様へ各種お知らせをメールでご案内することがあります。受信するメールの種類を設定する機能です。

「設定」画面で「メール配信設定」ボタンを押すと、画面が遷移します。

受信の有無を設定できるメールの種類は、「制度・運営に関するメール」と「福祉事業に関するメール」の 2 種類です。初期状態では 2 種類ともに「受信する」設定になっています。受信を希望しない場合はチェックボックスからチェックを外してください。



② メールアドレス変更

メールの送信先およびログイン ID となっているメールアドレスを変更する機能です。

「設定」画面で「メールアドレス変更」ボタンを押すと、画面が遷移します。

1. 「現在のメールアドレス（確認用）」「変更後のメールアドレス」「変更後のメールアドレス（確認用）」を入力し、「次へ」ボタンを押します。

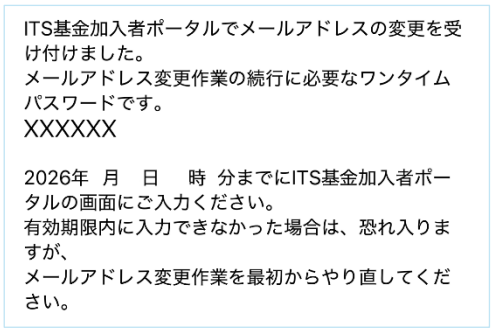
※登録したメールアドレスを事業所管理者が確認することはできない仕様です。業務に使用するメールアドレスである必要はありません。

※2026 年 5 月現在は加入者向けの機能がほとんどですが、将来的には、退職などで加入者資格を喪失された方向けの機能の追加を検討しています。退職後も受信可能なメールアドレスの登録を推奨します。

※「@its-kikin.net」が送信するメールの受信が可能な設定にしてください。

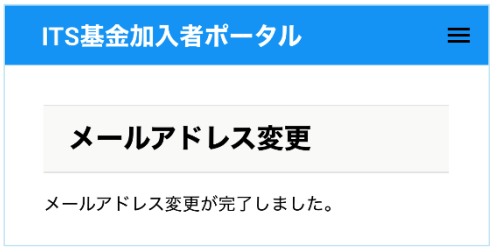
2. 変更後のメールアドレスへワンタイムパスワードを記載したメールが送信され、加入者ポータルはワンタイムパスワードを入力する画面に遷移します。ワンタイムパスワードを入力し、「変更」ボタンを押します。

メール



加入者ポータル

3. 次の画面に遷移すれば、メールアドレス変更の作業は完了です。



③ 認証用端末変更

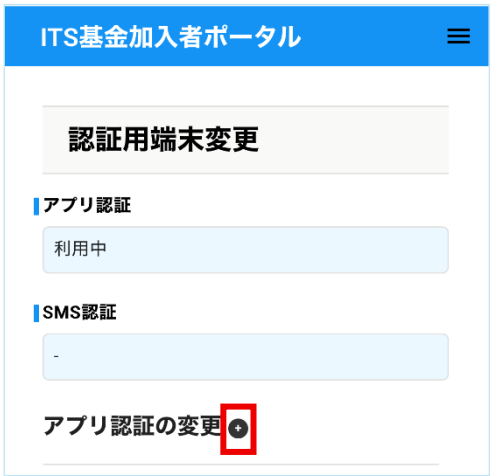
多要素認証の設定を初期化する機能です。初期化後に新しい端末と加入者ポータルを紐づけることで認証用端末を変更することができます。

「設定」画面で「認証用端末変更」ボタンを押すと、画面が遷移します。

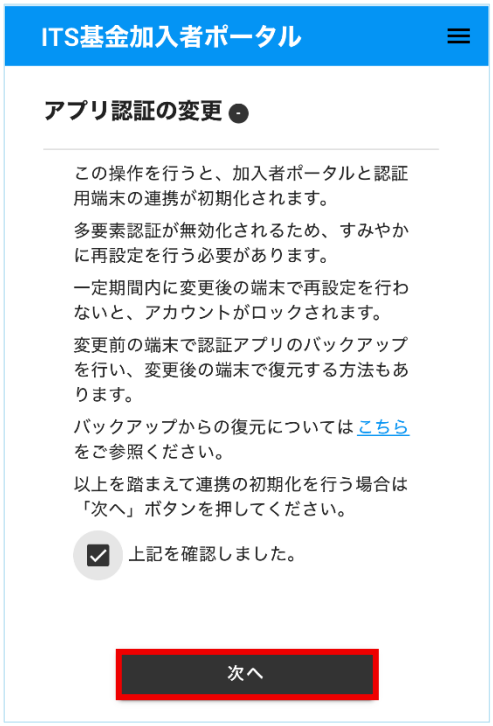
まず、アプリ認証を初期化する手順を説明します。SMS 認証を初期化する手順はこちらをご参照ください。

◆アプリ認証の初期化

1.「アプリ認証の変更」の右にある「＋」を押します。



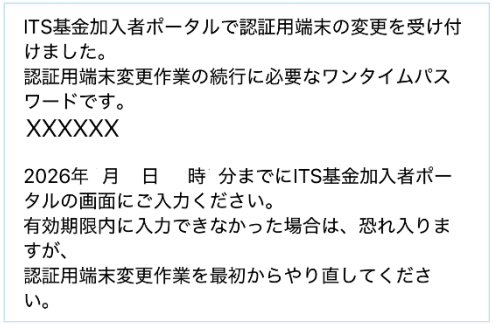
2. 表示される注意事項を読み、問題がなければ、チェックボックスにチェックを入れて「次へ」ボタンを押します。



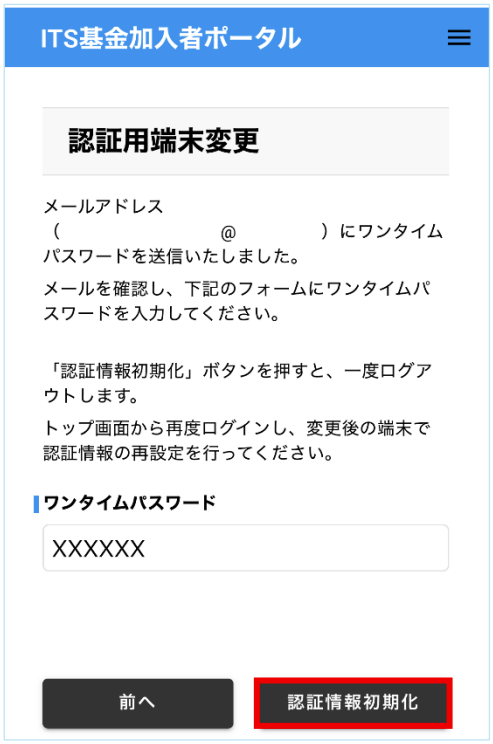
※変更前と変更後の端末がどちらも iOS 端末である場合、または変更前と変更後の端末がどちらも Android 端末である場合は、変更前の端末で認証アプリのバックアップを行い、変更後の端末で復元する方法もあります。詳細はこちらをご参照ください。

3. メールアドレスへワンタイムパスワードを記載したメールが送信され、加入者ポータルはワンタイムパスワードを入力する画面に遷移します。ワンタイムパスワードを入力し、「認証情報初期化」ボタンを押します。

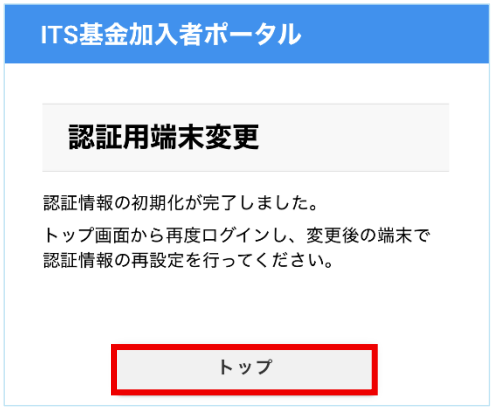
メール



加入者ポータル


ITS基金加入者ポータル
認証用端末変更
メールアドレス
（ @ ）にワンタイムパスワードを送信いたしました。
メールを確認し、下記のフォームにワンタイムパスワードを入力してください。
「認証情報初期化」ボタンを押すと、一度ログアウトします。
トップ画面から再度ログインし、変更後の端末で認証情報の再設定を行ってください。
ワンタイムパスワード
XXXXXX
前へ
認証情報初期化

4. 次の画面に遷移すれば、認証情報初期化は完了です。



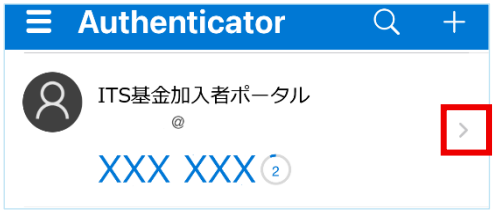
トップ画面に戻り、認証方法を「アプリ認証」または「SMS 認証」のどちらかから選択して再度ログインすることで、新しい端末と加入者ポータルを紐づけます。この作業は初回ログインとほとんど同じになりますので、アプリ認証の場合はこちら、SMS 認証の場合はこちらをご参照ください。

ただし、入力するパスワードは初期パスワードではありません。サインイン画面でメールアドレスとご自身で設定したパスワードを入力すると、「パスワードの変更」画面を経由せず、直接「アプリ認証」画面または「SMS 認証」に遷移します。

※認証情報初期化後、10 営業日（基金事務局の営業日）以内に再ログインの作業を完了させないと、アカウントがロックされます。アカウントがロックされた場合は基金事務局または事業所管理者へご相談ください。

※認証アプリから加入者ポータルのアカウントを削除してください。

ⅰ 削除するアカウントの右側にある「＞」を押します。

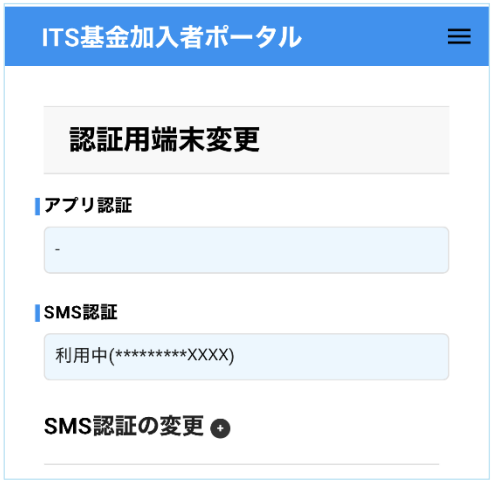


ii 「アカウントの削除」を押します。

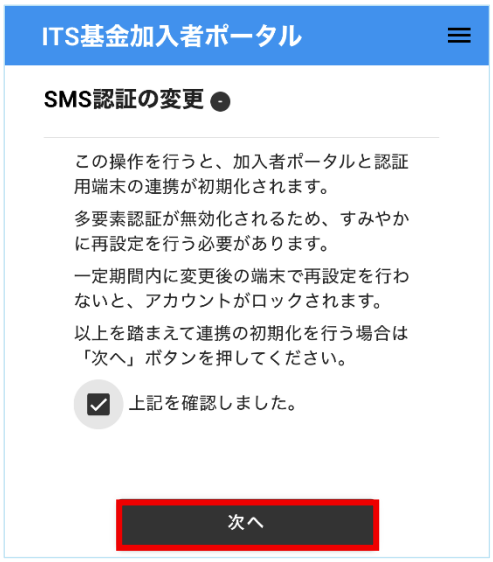
iii 確認モーダルの「続行」を押します。

◆SMS 認証の初期化

1.「SMS 認証の変更」の右にある「＋」を押します。

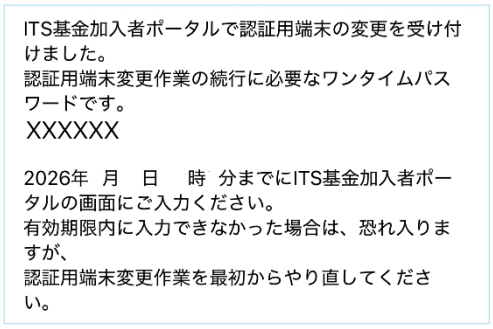


2. 表示される注意事項を読み、問題がなければ、チェックボックスにチェックを入れて「次へ」ボタンを押します。

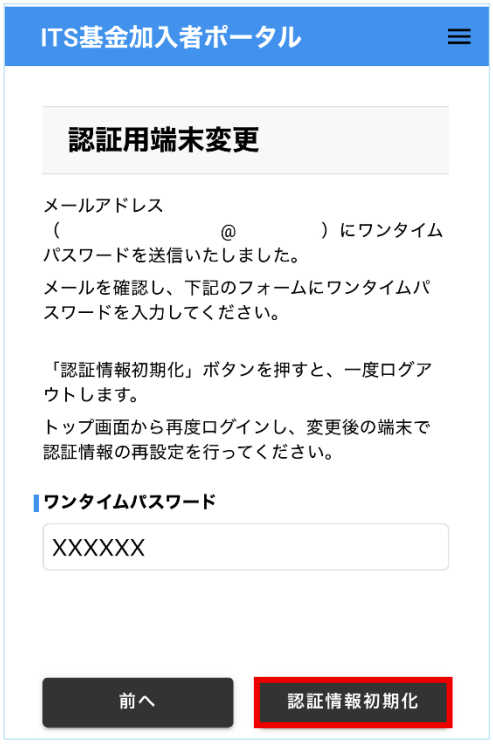


3. メールアドレスへワンタイムパスワードを記載したメールが送信され、加入者ポータルはワンタイムパスワードを入力する画面に遷移します。ワンタイムパスワードを入力し、「認証情報初期化」ボタンを押します。

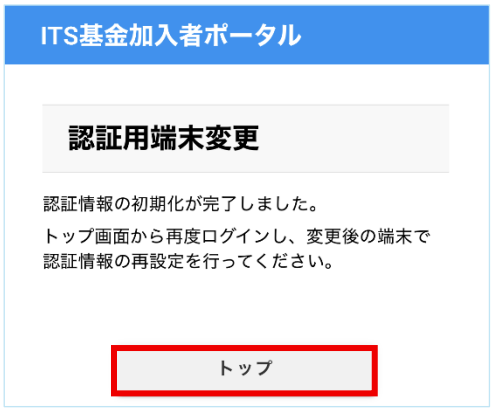
メール



加入者ポータル



4. 次の画面に遷移すれば、認証情報初期化は完了です。



トップ画面に戻り、認証方法を「アプリ認証」または「SMS 認証」のどちらかから選択して再度ログインすることで、新しい端末と加入者ポータルを紐づけます。この作業は初回ログインとほとんど同じになりますので、アプリ認証の場合はこちら、SMS 認証の場合はこちらをご参照ください。

ただし、入力するパスワードは初期パスワードではありません。サインイン画面でメールアドレスとご自身で設定したパスワードを入力すると、「パスワードの変更」画面を経由せず、直接「アプリ認証」画面または「SMS 認証」に遷移します。

※認証情報初期化後、10 営業日（基金事務局の営業日）以内に再ログインの作業を完了させないと、アカウントがロックされます。アカウントがロックされた場合は基金事務局または事業所管理者へご相談ください。

④ アカウント削除

アカウントを削除する機能です。

1. 表示される注意事項を読み、問題がなければ、チェックボックスにチェックを入れて「アカウント削除」ボタンを押します。

※アカウントを削除すると、ITS 基金が保有する個人情報からメールアドレス、パスワードおよび認証に関する情報が削除されます。

※アカウントの削除が加入者記録に影響することはありません。基礎年金番号や仮想個人勘定残高など ITS 基金の記録管理に必要な情報が削除されることもありません。

※退職などで加入者資格を喪失した方のうち、次のどちらかに当てはまる方のアカウントは、一定期間が経過した後、自動的に削除されます。

◆加入者期間が 3 年未満で ITS 基金の給付が発生しなかった方

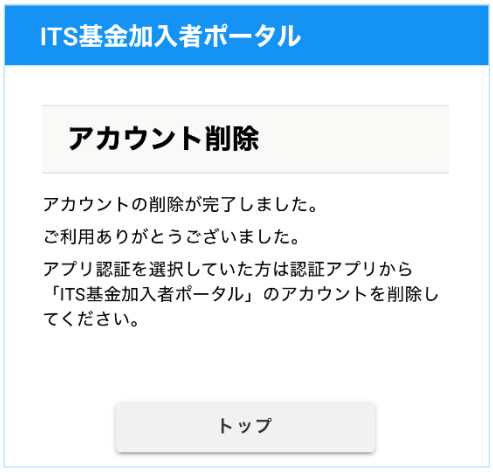
⇒ 加入者資格喪失届の処理完了から 90 日後に削除

◆ITS 基金の給付の全額を一時金で受給した方または他制度へ移換した方

⇒ 一時金または移換の処理完了から 90 日後に削除

※給付の繰下げを申し出る方（給付を受け取らずに据え置く方）や年金を受給する方は、将来的に資格喪失者向け機能の追加を検討していますので、アカウントの削除はしないことを推奨します。

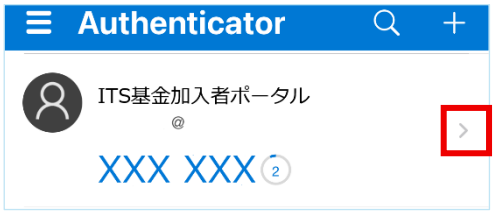
2. 次の画面に遷移すれば、アカウント削除は完了です。



※誤って削除された場合などアカウントの復活をご希望の場合は、基金事務局または事業所管理者へご相談ください。

※アプリ認証を選択していた場合は、認証アプリから加入者ポータルのアカウントを削除してください。

ⅰ 削除するアカウントの右側にある「＞」を押します。



ⅱ 「アカウントの削除」を押します。

iii 確認モーダルの「続行」を押します。

5 FAQ

5-1 アカウント登録

Q1　アカウントを登録すると、来年以降、圧着はがき形式の「仮想個人勘定残高のお知らせ」はどうなりますか。
Q2　「仮想個人勘定残高のお知らせ」を紛失し、加入者番号または初期パスワードがわかりません。
Q3　初期パスワードの有効期限が切れてしまい、アカウント登録ができません。
Q4　基礎年金番号がわからず、アカウント登録ができません。
Q5　メールアドレスを複数所有しています。どのメールアドレスを入力すればいいでしょうか。

5-2 初回ログイン

Q6　多要素認証とは何でしょうか。
Q7　アプリ認証とは何でしょうか。
Q8　SMS 認証とは何でしょうか。
Q9　アプリ認証と SMS 認証のどちらを選択すればいいでしょうか。
Q10　アプリ認証に使用可能な認証アプリの種類を教えてください。
Q11　認証アプリを PC にインストールすることはできますか。
Q12　アカウント登録時に入力したメールアドレスがわからなくなりました。
Q13　「仮想個人勘定残高のお知らせ」を紛失し、初期パスワードがわかりません。
Q14　初期パスワードの有効期限が切れてしまい、初回ログインができません。
Q15　初期パスワードを正しく入力したはずなのに「パスワードが正しくありません。」のエラーが出ます。
Q16　パスワードに関するルールを教えてください。
Q17　スマートフォン 1 台で初回ログインを行っているため、「アプリ認証」画面の QR コードをスキャンできません。
Q18　iPhone で「認証アプリに認証情報を登録」ボタンを押しても認証アプリが起動しません。
Q19　アカウントを登録しましたが、初回ログインを行っておらず、アカウントがロックされました。

5-3 2 回目以降のログイン

Q19　設定したメールアドレスがわからなくなりました。
Q20　2 回目以降のログインにも多要素認証が必要でしょうか。
Q21　パスワードの入力を複数回誤ったところ、アカウントがロックされました。
Q22　自分で設定したパスワードを忘れてしまいました。
Q23　パスワードを変更できますか。
Q24　機種変更を行います。変更前に準備しておくことはありますか。

5-4「仮想個人勘定残高確認」画面

Q25　画面に表示されている用語の意味がわかりません。
Q26　「仮想個人勘定残高の履歴」欄に何も表示されません。
Q27　「2025 年 3 月末時点」を選択し、当年 3 月末時点のデータとして表示された「2025 年 3 月末仮想個人勘定残高」と、「2026 年 3 月末時点」を選択し、前年 3 月末時点のデータとして表示された「2025 年 3 月末仮想個人勘定残高」に矛盾があります。
Q28　今月末に退職する予定です。「一時金簡易シミュレーション」に表示された一時金額を受給できるでしょうか。
Q29　「一時金簡易シミュレーション」に「0 円」と表示されます。
Q30　「一時金簡易シミュレーション」に「ご利用いただけません。」というメッセージが表示されます。
Q31　退職して加入者資格を喪失したところ、「仮想個人勘定残高の履歴」画面が表示されなくなりました。

5-5「設定」画面

Q32　加入者ポータルから送信されるメールの受信の有無を設定できますか。
Q33　登録しているメールアドレスを変更できますか。
Q34　多要素認証の認証方法を変更できますか。
Q35　多要素認証に使用している端末を変更できますか。
Q36　アカウントを削除できますか。
Q37　退職して加入者資格を喪失しました。アカウントを削除したほうがいいでしょうか。

5-1 アカウント登録

Q1	アカウントを登録すると、来年以降、圧着はがき形式の「仮想個人勘定残高のお知らせ」はどうなりますか。
A1	毎年 5 月上旬の「仮想個人勘定残高のお知らせ」発行のためのデータ作成時点で加入者ポータルのアカウント登録が済んでいる方については、その年の「仮想個人勘定残高のお知らせ」は発行されません。仮想個人勘定残高などは加入者ポータルでご確認ください。 アカウント登録は済んでいるが、初回ログインが完了していない方も同様です。初回ログインをお早めにお済ませください。

Q2	「仮想個人勘定残高のお知らせ」を紛失し、加入者番号または初期パスワードがわかりません。
A2	事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へ連絡し、「初期パスワード通知書」の発行をご依頼ください。

Q3	初期パスワードの有効期限が切れてしまい、アカウント登録ができません。
A3	事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へ連絡し、初期パスワードの再発行をご依頼ください。有効期限を更新した「初期パスワード通知書」を発行します。

Q4	基礎年金番号がわからず、アカウント登録ができません。
A4	ご自身の基礎年金番号は、マイナポータル、ねんきんネット、基礎年金番号通知書などで確認することができます。 日本年金機構：自分の基礎年金番号の確認方法を教えてください。 アカウントを登録しようとしている方が加入者ご本人であることの確認のために入力をお願いしている項目です。基金事務局へお問い合わせいただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

Q5	メールアドレスを複数所有しています。どのメールアドレスを入力すればいいでしょうか。
A5	「its-kikin.net」のドメインが送信するメールを受信できるメールアドレスでお願いいたします。 将来的に資格喪失者向けの機能の追加を検討しており、退職などで加入者資格を喪失した後も使用可能なメールアドレスの入力を推奨します。 入力したメールアドレスを事業所の事務担当者様(ペンション・プラスの管理者アカウント)が確認することはできません。また、加入者ポータルに登録されたメールアドレスについて事業所の事務担当者様から基金事務局へ照会があっても、回答することはありません。

5-2 初回ログイン

Q6	多要素認証とは何でしょうか。
A6	「知識情報」「所持情報」「生体情報」の 3 要素のうち、2 要素以上が必要な認証のことをいいます。2 要素が必要な認証のことを「2 要素認証」ともいいます。 知識情報 … パスワード、秘密の質問など 所持情報 … 携帯端末、ハードウェアトークンなど 生体情報 … 指紋、顔認識など ID とパスワードの組み合わせが漏洩したとしても、他の要素がないとログインできないしくみにすることにより、セキュリティのレベルを高めます。 加入者ポータルでは、知識情報であるパスワードと所持情報である携帯端末の 2 要素がログインに必要なしくみにしています。 所持情報の認証方法は、「アプリ認証」または「SMS 認証」のどちらかから選択します。併用はできません。

Q7	アプリ認証とは何でしょうか。
A7	ログインに必要な確認コードを、携帯端末(スマートフォンまたはタブレット)にダウンロードした認証アプリに表示する認証方法のことです。

Q8	SMS 認証とは何でしょうか。
A8	ログインに必要な確認コードを、携帯電話の電話番号を宛先として送信されるSMS(ショートメッセージサービス)で受信する認証方法のことです。

<table>
<tr><td>Q9</td><td>アプリ認証と SMS 認証のどちらを選択すればいいでしょうか。</td></tr>
<tr><td>A9</td><td>どちらでも差し支えありませんが、セキュリティ面でより強固であるアプリ認証を推奨しています。次の比較をご参考のうえ、ご選択ください。

<table>
<tr><th></th><th>アプリ認証</th><th>SMS 認証</th></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td>◎
SMS 認証が持つ脆弱性はない</td><td>○
SIM スワップや SMS 傍受などの脆弱性あり</td></tr>
<tr><td>機種変更時の利便性</td><td>○
データのバックアップ＆復元
加入者ポータルの設定初期化
のどちらかが必要</td><td>◎
電話番号を変えなければ
そのまま利用可</td></tr>
<tr><td>通信費</td><td>◎
アプリダウンロード時は費用（端末の契約による）が発生
確認コード表示はオフラインでも利用可</td><td>○
SMS 受信に費用（端末の契約による）が発生</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

Q10	アプリ認証に使用可能な認証アプリの種類を教えてください。
A10	「Microsoft Authenticator」をご使用ください。 Microsoft：Microsoft Authenticator をダウンロード 他の認証アプリで加入者ポータルに対応するものがあることは確認していますが、操作方法などについて基金事務局では「Microsoft Authenticator」以外のアプリはサポートしていません。

Q11	認証アプリをデスクトップ PC やノート PC にインストールすることはできますか。
A11	「Microsoft Authenticator」を PC や Mac にインストールすることはできません。 Microsoft：Microsoft Authenticator に関する FAQ

Q12	アカウント登録時に入力したメールアドレスがわからなくなりました。
A12	アカウント登録時に入力したメールアドレスで「its-kikin.net」のドメインから送信された登録完了のメールを受信しているはずですが、いかがでしょうか。 心当たりのあるメールアドレスを試したうえ、なおご不明な場合は基金事務局へご相談ください。アカウントを一度削除した後に再度ご登録いただくなどで対応します。

Q13	「仮想個人勘定残高のお知らせ」を紛失し、初期パスワードがわかりません。
A13	事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へ連絡し、「初期パスワード通知書」の発行をご依頼ください。

Q14	初期パスワードの有効期限が切れてしまい、初回ログインができません。
A14	事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へ連絡し、初期パスワードの再発行をご依頼ください。有効期限を更新した「初期パスワード通知書」を発行します。

Q15	初期パスワードを正しく入力したはずなのに「パスワードが正しくありません。」のエラーが出ます。
A15	次のどちらかの原因が考えられます。 ①過去に初回ログインを行おうとしたことがあり、パスワードを初期パスワードからご自身で設定するパスワードに変更したが、その後の多要素認証の設定を行わずに作業を中断したため、パスワードがご自身で設定したものに変更されている。 ⇒ご自身で設定したものとして心当たりのあるパスワードをお試しください。 ※ペンション・プラスの管理者アカウントが「加入者アカウント設定」画面で確認すると、①に該当しても初期パスワードのステータスは「発行済」のままで、「変更済」にはなっていません。 ②管理者アカウントが初期パスワードの再発行を行っており、初期パスワードが変更されている。 ⇒事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）へ連絡し、再発行を行っていれば、初期パスワード通知書（再発行）に記載された初期パスワードの連携をご依頼ください。 上記①②で解決しなかった場合は、事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へ連絡し、初期パスワードの再発行をご依頼ください。

Q16	パスワードに関するルールを教えてください。
A16	パスワードには半角の英数字記号が使用可能です。 使用可能な記号：@ # $ % ^ & * - _ + = [ ] { } | ¥ : ' , . ? / ` ~ " ( ) ; ! 12 文字以上 256 文字以下で設定してください。文字数が多いパスワードの設定を推奨しています。 定期的な変更を必要とするルールはありません。 パスワードによく使われる組み合わせは設定できない場合があります。

Q17	スマートフォン 1 台で初回ログインを行っているため、「アプリ認証」画面の QR コードをスキャンできません。
A17	「認証アプリに認証情報を登録」ボタンを押すと、QR コードをスキャンしなくても認証アプリに加入者ポータルの情報が登録されます。 Android 端末 1 台で作業している方はこちら、iOS 端末 1 台で作業している方はこちらをご参照ください。

Q18	iPhone で「認証アプリに認証情報を登録」ボタンを押しても認証アプリが起動しません。
A18	「確認コードを設定するアプリ」の設定を確認し、「Authenticator」に変更する必要があります。詳細はこちらをご参照ください。

Q19	アカウントを登録しましたが、初回ログインを行っておらず、アカウントがロックされました。
A19	アカウント登録後、初回ログインを行わないまま 10 営業日（ITS 基金の営業日）が経過すると、アカウントがロックされます。 事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へ連絡し、アカウント有効化（ロック解除）をご依頼ください。

5-3 2 回目以降のログイン

Q19	設定したメールアドレスがわからなくなりました。
A19	アカウント登録時またはメールアドレス変更時に設定したメールアドレスで「its-kikin.net」のドメインから送信された登録完了のメールを受信しているはずですが、いかがでしょうか。 心当たりのあるメールアドレスを試したうえ、なおご不明な場合は基金事務局へご相談ください。アカウントを一度削除した後に再度ご登録いただくなどで対応します。

Q20	2 回目以降のログインにも多要素認証が必要でしょうか。
A20	必要です。初回ログイン時またはその後の設定変更で選択した認証方法でログインしてください。

Q21	パスワードの入力を複数回誤ったところ、アカウントがロックされました。
A21	一定時間経過後にロックは自動的に解除されます。しばらく時間をおいてから再度ログインをお試しください。

Q22	自分で設定したパスワードを忘れてしまいました。
A22	多要素認証が設定されている状態の場合は、ご自身の操作でパスワードを変更することができます。詳細はこちらをご参照ください。 多要素認証が設定されていない状態（ご自身または管理者アカウントの操作で初期化されている状態）の場合は、初期パスワードの再発行で対応します。事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へご相談ください。

Q23	パスワードを変更できますか。
A23	多要素認証が設定されている状態の場合は、ご自身の操作でパスワードを変更することができます。詳細はこちらをご参照ください。リンクのテキストが「パスワードを忘れた場合」となっていますが、現在有効なパスワードがわかっている場合も、同じフローでパスワードを変更できます。 多要素認証が設定されていない状態（ご自身または管理者アカウントの操作で初期化されている状態）の場合は、初期パスワードの再発行で対応します。事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へご相談ください。

Q24	機種変更を行います。変更前に準備しておくことはありますか。
A24	認証方法として SMS 認証を選択しており、機種変更で電話番号が変わらない場合は、加入者ポータルについて何か作業を行う必要はありません。 ①認証方法としてアプリ認証を選択している。 ②変更前の端末と変更後の端末がどちらも iOS 端末である。 　　または 　変更前の端末と変更後の端末がどちらも Android 端末である。 上記①②のどちらにも当てはまる場合は、変更前の端末で認証アプリのバックアップを行うと、変更後の端末で復元することにより加入者ポータル側の設定は変えずに引き続き利用することができます。詳細はこちらをご参照ください。 認証アプリのバックアップと復元の方法を使えない／使わない場合は、変更前の端末で加入者ポータルにログインし、認証用端末の初期化を行います。詳細はこちらをご参照ください。 SMS 認証を選択していて初期化を行う前に電話番号が変わった、アプリ認証を選択していて変更前の端末が手元にないなどの場合は、管理者アカウントによって初期化を行います。事業所の事務担当者様（ペンション・プラスの管理者アカウント）または基金事務局へご相談ください。

5-4「仮想個人勘定残高確認」画面

Q25	画面に表示されている用語の意味がわかりません。
A25	項目名の横にあるヘルプボタン(「？」ボタン)を押すか、またはこちらをご参照ください。

Q26	「仮想個人勘定残高の履歴」欄に何も表示されません。
A26	加入者ポータルに登録されている仮想個人勘定残高は、その年 3 月末時点と 4 月中旬～下旬時点の両方で加入者資格がある方のデータとなっています。次のような方のデータは登録されておらず、データを表示可能な年がない場合は「仮想個人勘定残高の履歴」欄に「－」が表示されます。 ◆その年 4 月 1 日以降に加入者資格を取得した方 ◆3 月 31 日以前を資格取得日とする加入者資格取得届の提出が遅れた方

Q27	「2025 年 3 月末時点」を選択し、当年 3 月末時点のデータとして表示された「2025 年 3 月末仮想個人勘定残高」と、「2026 年 3 月末時点」を選択し、前年 3 月末時点のデータとして表示された「2025 年 3 月末仮想個人勘定残高」に矛盾があります。
A27	加入者ポータルに登録された仮想個人勘定残高のデータは、毎年 4 月中旬～下旬時点のデータに基づいて作成されています。 データ作成の基準日以降に受け付けた届出で、その年 3 月以前の基準給与の変更・訂正や中断者届・復活者届が処理されると、作成した仮想個人勘定残高のデータと基幹システム(ITS 基金が記録管理の業務を委託している信託銀行のシステム)上の仮想個人勘定残高のデータに相違が生じる場合があります。 翌年も同様にデータ作成を行うと、「X-1 年に作成したその年 3 月末時点の残高」と「X 年に作成した前年 3 月末時点の残高」が一致しない事例となります。 仮想個人勘定残高の「仮想」とは、銀行預金などとは違い、事業所が ITS 基金に届け出る基準給与で算出された、理論上の値であることを意味するとお考えください。

Q28	今月末に退職する予定です。「一時金簡易シミュレーション」に表示された一時金額を受給できるでしょうか。
A28	加入者ポータルに登録された直近の仮想個人勘定残高をベースとして、残高の基準月の翌月（=4 月）から加入者ポータルを閲覧している日が属する月までの基準給与などが閲覧時点とすべて同じであるという前提で簡易的に試算した見込額となります。実際の一時金額とは異なりますので、ご注意ください。 実際に退職などで加入者資格を喪失した場合は、事業所から加入者資格喪失届が提出され、一時金や年金の受給権がある方には、喪失届提出の 2～3 週間後に資格喪失者のご自宅へ給付額を記載したご案内と裁定請求書などを郵送します。 ※一時金や年金の受給権がない方への郵送でのご案内はありません。

Q29	「一時金簡易シミュレーション」に「0（円）」と表示されます。
A29	ITS 基金の一時金を受給するには、原則として 3 年以上の加入者期間が必要です。一時金を受給できない方の「一時金簡易シミュレーション」には「0（円）」と表示されます。 ※加入者期間が 3 年未満でも一時金を受給できる例外 ◆他の制度の資産を ITS 基金に移換した方 ◆事業所が ITS 基金に加入した際に加入前の勤続期間を通算した方 （通算した加入前の勤続期間と合わせて 3 年以上の期間があれば受給可）

Q30	「一時金簡易シミュレーション」に「ご利用いただけません。」というメッセージが表示されます。
A30	直近の仮想個人勘定残高のデータが登録されていない方や、4 月以降に転籍などで在籍する事業所が変わった方は、「一時金簡易シミュレーション」を利用できません。

Q31	退職して加入者資格を喪失したところ、「仮想個人勘定残高の履歴」画面を表示できなくなりました。
A31	実際に退職などで加入者資格を喪失した場合は、事業所から加入者資格喪失届が提出され、一時金や年金の受給権がある方には、喪失届提出の 2～3 週間後に資格喪失者のご自宅へ給付額を記載したご案内と裁定請求書などを郵送します。 ※一時金や年金の受給権がない方への郵送でのご案内はありません。 実際の給付額をご案内することから、「仮想個人勘定残高の履歴」画面の機能の多くは資格喪失者にとって意義が少ないと考え、資格喪失者は利用できない仕様としています。

5-5「設定」画面

Q32	加入者ポータルから送信されるメールの受信の有無を設定できますか。
A32	設定できます。詳細はこちらをご参照ください。 ※メールをまったく受信しない設定にした方でも、システムメンテナンスなどについてのメールは送信することがあります。

Q33	登録しているメールアドレスを変更できますか。
A33	変更できます。詳細はこちらをご参照ください。

Q34	多要素認証の認証方法を変更できますか。
A34	変更できます。詳細はこちらをご参照ください。

Q35	多要素認証に使用している端末を変更できますか。
A35	変更できます。 ①認証方法としてアプリ認証を選択している。 ②変更前と変更後の端末がどちらも iOS 端末である。 　　または 　変更前と変更後の端末がどちらも Android 端末である。 上記①②のどちらにも当てはまる場合は、変更前の端末で認証アプリのバックアップを行うと、変更後の端末で復元することにより加入者ポータル側の設定は変えずに引き続き利用することができます。詳細はこちらをご参照ください。 認証アプリのバックアップと復元の方法を使えない／使わない場合は、変更前の端末で加入者ポータルにログインし、認証用端末の初期化を行います。詳細はこちらをご参照ください。

Q36	アカウントを削除できますか。
A36	削除できます。詳細はこちらをご参照ください。

Q37	退職して加入者資格を喪失しました。アカウントを削除したほうがいいでしょうか。
A37	退職後に給付の繰下げを申し出る方（給付を受け取らずに据え置く方）や年金を受給する方は、将来的に資格喪失者向け機能の追加を検討していますので、アカウントの削除はしないことを推奨します。 次のどちらかに当てはまる方のアカウントは、一定期間が経過した後、自動的に削除されます。 ◆加入者期間が 3 年未満で ITS 基金の給付が発生しなかった方 ⇒ 加入者資格喪失届の処理完了から 90 日後に削除 ◆ITS 基金の給付の全額を一時金で受給した方または他制度へ移換した方 ⇒ 一時金または移換の処理完了から 90 日後に削除

変更履歴

2026 年 5 月	第 1 版公開